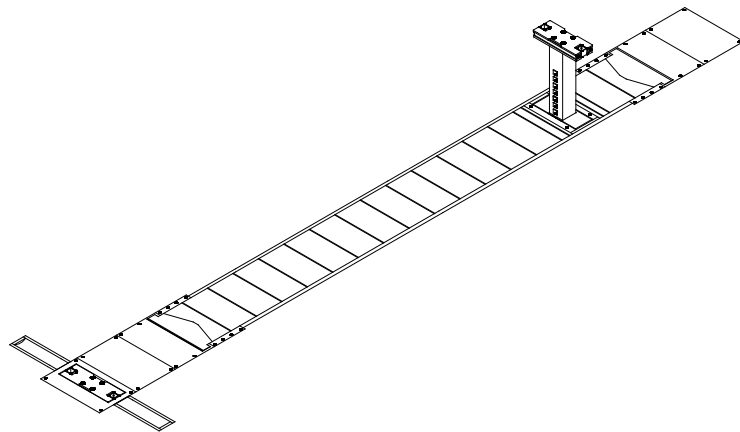


取扱説明書

32 t ツインフルフラット式横キャタピラ

有線リモコン式 : LM3132-20CF-F
(HL-32FFYC9L2)

無線リモコン式 : LM3132-2RCF-F
(HL-32FFYC9LR2)



取扱説明書が現品と異なる場合は、販売会社まで請求して下さい。

警告

製品を使用する前に取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用して下さい。

この取扱説明書はいつでも使用できるように大切に保管して下さい。

株式会社 アルティア

ま え が き

この度は、「2ポストリフト（キャタピラ式）」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
ご使用になる前に必ずこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用して下さい。
取扱説明書の中の注意事項及び使用方法等をよく読んでご使用頂かないと、十分な能力を発揮できないばかりか車の落下や人身事故につながりますので充分理解された上で正しくご使用下さい。
お買い上げの製品や取扱説明書の内容についてご質問がある場合は、お買い上げ頂きました販売会社までお問い合わせ下さい。
尚、取扱説明書及び警告ラベル等は大切に使用して頂き、万一、紛失や汚損、剥がれた場合等は速やかにご購入して頂き、正しく保管、および貼付を行って下さい。

警 告

この取扱説明書では「危険」「警告」「注意」について次のような警告表示と定義を使用しています。

警告表示は安全作業のために重要な事柄です。

人身事故や財物損害防止のための重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してから使用して下さい。

危険・・取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる事が想定される場合。

警告・・取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

注意・・取扱を誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合。

保守点検管理のお願い

リフトによる安全な作業を行う為に、又、リフトの十分な機能を維持する為に、定期的な保守点検の実施をお願い致します。

注 意

取扱説明書及び警告・注意シール等は大切に扱って頂く様お願い致します。
万一、紛失や汚損、剥がれた場合等は速やかにご購入して頂き、正しく保管、および貼付を行って下さい。

目次

| | | |
|-------|-----------------------|----|
| 1. | 使用目的 | 1 |
| 2. | 危険・警告・注意事項 | 1 |
| 2-1. | 一般的な安全遵守事項 | 1 |
| 2-2. | 使用上の注意 | 1 |
| 3. | 警告・危険・注意シール | 6 |
| 3-1. | 警告・危険・注意シールの貼付け位置及び内容 | 6 |
| 4. | 構造及び各部の名称 | 7 |
| 4-1. | 構造及び各部の名称 | 7 |
| 5. | 各装置の使い方 | 14 |
| 5-1. | 操作スイッチ(有線リモコン式) | 14 |
| 5-2. | 操作スイッチ(無線リモコン式) | 15 |
| 5-3. | 駐車台 | 16 |
| 5-4. | アタッチメント類 | 17 |
| 5-5. | フィルターレギュレーター | 19 |
| 6. | 油空圧回路 | 20 |
| 7. | 電気制御回路 | 21 |
| 7-1. | 有線リモコン式回路図 | 21 |
| 7-2. | 無線リモコン式回路図 | 22 |
| 8. | 安全装置 | 23 |
| 9. | 使用方法および使用上の注意 | 25 |
| 9-1. | 始業点検 | 25 |
| 9-2. | 車の乗り入れ前に | 26 |
| 9-3. | 車の乗り入れ | 26 |
| 9-4. | リフティングポイント | 27 |
| 9-5. | 上昇操作 | 27 |
| 9-6. | 下降操作 | 29 |
| 9-7. | 退出 | 29 |
| 9-8. | 終業点検 | 29 |
| 9-9. | ピット内への進入方法 | 30 |
| 10. | 定期点検 | 31 |
| 11. | 故障と処置 | 35 |
| 12. | 仕様 | 37 |
| 13. | 消耗部品 | 38 |
| 14. | 定期交換部品 | 38 |
| 15. | オプション部品 | 39 |
| 16. | 製品保証規定 | 40 |
| 16-1. | 保証規定 | 40 |
| 16-2. | 保証請求方法 | 40 |
| 17. | アフターサービスについて | 41 |

1. 使用目的

本リフトは中、大型トラック及びバス等を所定の高さに上昇させ、一般整備・車検整備・オイル交換・部品交換等を行う為のリフトです。

(このリフトは屋内用であり、屋外設置、および洗車作業は出来ません)

2. 危険・警告・注意事項

安全上の注意




本リフトをご使用頂く上で、人身事故や車の損傷を防止する為の重要な事柄が記載されています。必ずよく読んで頂き、よく理解して頂いた上でご使用ください。

2-1. 一般的な安全遵守事項

- ①取扱説明書をよく読み、よく理解してから使用してください。
- ②このリフトの操作は、使用方法を熟知した人以外は使用しないでください。
- ③始業点検及び定期点検は、取扱説明書の本文に従って必ず実施してください。
- ④操作時に、異音発生等、普段と異なる状態の場合は、リフトの使用を禁止し、お買上げの販売会社にご連絡の上、点検及び修理等を受けてください。
- ⑤このリフトを使用目的以外で使用しないでください。
- ⑥警告・注意シール等の取り外しや、改変等を行わないでください。

2-2. 使用上の注意

絵表示の背後に描かれている図記号は次のような意味があります。

| | |
|---|---------------------------|
|  | 行ってはいけない特定の行為 |
|  | 行わなければいけない特定の行為 |
|  | 取扱いの誤りによって発生する可能性のある警告、注意 |

| ⚠ 危険 | |
|---|---|
|  | <p>操作中は車の下に立入禁止</p> <p>※車が落下し、死亡又は重傷事故の危険があります。</p> |
|  | <p>車が落下しそうなときは支えないで逃げろ</p> <p>※車が落下し、死亡又は重傷事故の危険があります。</p> |
| ⚠ 警告 | |
|  | <p>感電に注意(制ご盤を開けた時等)</p> <p>※感電により死亡又は重傷事故の可能性あります。</p> |
|  | <p>極端な偏荷重での使用禁止、車の傾きに注意</p> <p>※リフトの振動、重い部品の脱着時等に車が落下し、死亡又は重傷事故の危険があります。</p> |
|  | <p>部品の脱着時に棒及びリジットラック等を不安定にカマせての下降禁止</p> <p>※車が落下し、死亡又は重傷事故の可能性あります。</p> |
|  | <p>ピットカバーの上には車の乗り込み禁止</p> <p>※カバーが破損し車の転倒等による重傷事故の可能性あります。</p> |
|  | <p>純正アタッチメント以外の使用禁止</p> <p>※外れ、破損等により車が落下し、死亡又は重傷事故の可能性あります。</p> |

⚠ 警 告

| | |
|---|---|
|  II | <p>安全装置の改造禁止</p> <p>※万一の時に安全装置が作動せず、車が落下し、死亡又は重傷事故の可能性あります。</p> |
|  | <p>車の片上げ禁止(前後、左右)</p> <p>※車が落下し、死亡又は重傷事故の危険があります。</p> |
|  | <p>下降時には昇降部に足を入れない</p> <p>※挟まれて、重傷事故の可能性あります。</p> |
|  | <p>操作方法を熟知した人以外は使用禁止</p> <p>※誤操作により、思わぬ事故の可能性あります。</p> |
|  | <p>アタッチメントは指定されたリフティングポイントに正しく当てる</p> <p>※車が落下し、死亡又は重傷事故の可能性あります。</p> |
|  | <p>取扱説明書をよく読み、理解した上で使用する</p> <p>※重要警告事項の説明があります。 警告事項に従わないと、重大事故につながります。</p> |

⚠ 注意

部品を外したり、キャビンをチルトさせた場合はリフトに掛かる荷重が軽くなります。
※誤操作により、思わぬ事故につながる可能性があります。

注意

取扱説明書をよく読んで、よく理解してから使用してください。

1. リフトを使用するにあたって

- 1) このリフトを大型トラック・バス等の整備以外の目的に使用しないでください。
- 2) 使用方法を熟知した人以外は操作しないでください。
- 3) 使用許可者以外の人をリフト付近への立ち入りをさせないでください。
- 4) 始業点検、定期点検及び保守点検は、取扱説明書の本文に従って必ず実施してください。
- 5) 安全装置が正常に作動しない場合には、リフトを使用しないでください。
- 6) タイヤやリフト上面が濡れている場合は、スリップしやすいので注意してください。
- 7) 駐車台(アタッチメント)を収納する場合は、手や指を挟まない様に注意してください。
- 8) ポスト本体・駐車台・梁・折畳みカバー等に油や泥等が付着している場合は拭き取ってください。
- 9) 最大能力以上、及び対象車種以外の車のリフトアップや通り抜けをしないでください。
- 10) リフトの側面からの車の乗入れ、及び通り抜けは行わないでください。
- 11) 人や荷物をのせたまま車をリフトアップしないでください。

2. 進入・退出

- 1) 車の進入・退出は静かに行い、急発進・急停止は行わないでください。
- 2) 車の進入・退出時はリフト(梁)を完全に最低位置(最下限位置)まで下降させてください。
- 3) 車の進入・退出時は、駐車台(アタッチメント)を最縮位置に縮めてください。

3. 上昇・下降

- 1) わき見をしながらの操作は絶対に行わないでください。
- 2) リフトが複数併設されている場合、他のリフトの操作スイッチと間違えない様に注意してください。
- 3) 上昇操作時には、アタッチメントが車に当たる直前で一旦停止させ、正しいリフティングポイントにセットされている事を確認してください。
- 4) 上昇・下降時は、車の傾きに注意し常に車が前後左右で水平状態である事を確認してください。万一危険な状態に傾いた場合は、直ちに操作を中止し、販売会社にご連絡ください。
- 5) リフトの上昇・下降時は、他の人をリフトに近付れたり、触れさせたりしないでください。
- 6) 下降操作の際は、車やリフト周辺に人が居ない事、及び物等が無い事を確認してください。
- 7) リフト本体の可動部に工具や部品、泥、砂、石等を放置したまま操作しないでください。
リフトの故障や車の転落につながります。又、工具や部品、泥、砂、石等を取り除く場合は、車をリフトアップしている状態では行なわないでください。
- 8) 下降ボタンスイッチを押しても下降しない場合は、安全爪が掛かっている場合があります。
その場合は一旦上昇させてから、再度下降ボタンスイッチを押して下降させてください。
- 9) ポストの上昇・下降操作中及び移動ポストの移動操作中はブザーが断続的に鳴り続けます。

- 10) 複数のポストを連動で下降させる場合、約 0.5 秒間上昇してから下降を開始します。
この動作は、安全爪を確実に外す為の動作であり、異常ではありません。単独で下降させる場合は、一旦上昇はせず、そのまま下降します。
- 11) エアサス車をリフトアップする場合は、ベローズ(空気ばね)を破損する場合がありますので、該当車の車両整備要領書等(取扱説明書等)に従い、正しくリフトアップしてください。
- 12) 複数のポストを連動で上昇・下降の際に、前後リフトの上昇・下降速度に大きな差が出る場合は、直ちに使用を中止し、販売会社にご連絡ください。

4. 作業中

- 1) 作業者不在のまま、車をリフトアップ状態で長時間放置しないでください。リフトの高さの低い位置(安全爪が作用しない高さ)で長時間放置した場合、リフトが降下し、車に損傷を与える恐れがあります。**[梁上面の高さが床面より180mm以上で使用してください]**
- 2) 作業者以外の人を、リフトの付近への立ち入りをさせないでください。
- 3) リフトから離れる場合や使用しない場合は必ずリフトを最低位置(最下限)まで下げてください。
- 4) 移動ポスト(リフト)の駐車台に荷重か掛かっている場合は、安全の為に移動ポストが移動出来ません。この場合は、リフトの異常ではありませんので注意してください。
- 5) 部品を外したり、キャビンをチルトさせた場合はリフトに掛かる荷重が軽くなります。
※誤操作により、思わぬ事故につながる可能性があります。

5. その他

- 1) 使用中や点検中に異常を発見した場合は、直ちにリフトの使用を禁止し、販売店にご連絡の上、異常箇所の修理を受けてください。修理が完了するまでリフトを使用しないでください。
- 2) リフトを改造しないでください。十分な機能が発揮できないばかりか、重大な事故につながる恐れがあります。
- 3) フィルターや電磁弁には、0.98MPa以上の圧力のエアを供給しないでください。
供給エアの圧力がそれ以上の場合には、フィルターの手前(1次側)にレギュレーター(現地手配品)を接続してください。
- 4) 1日の作業が終了しましたら、必ずリフトを最低位置(最下限置)まで下降させて電源を切ってください。
- 5) フラットカバーは人が載っても大きく沈み込む事が無い仕様となっています。(約100kgまで)それ以上重い物等を乗せると沈み込む可能性がありますので、十分注意してください。

3. 警告・危険・注意シール

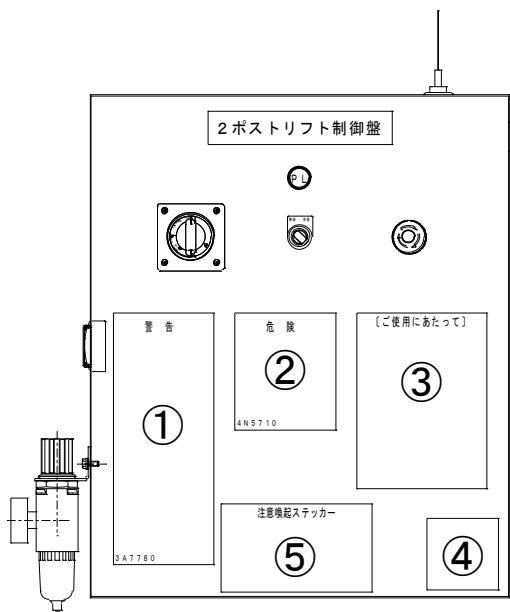
3-1. 警告・危険・注意シール等の貼付位置及び内容

リフトの操作を行うときは取扱説明書に指示されている安全に関する注意事項を全て遵守してください。

下記のように警告・注意シール等が貼ってありますので必ず確認してください。

尚、取扱説明書を紛失されたり、警告・注意シール等が剥がれたり汚損した場合等は、速やかにご購入して頂き、正しく保管、および貼り付けを行ってください。

<制御盤>



③注意事項シール

〔御使用にあたって〕 取扱説明書をよく読んで御使用下さい。

(リフトの取り扱い上注意事項)

下記の事項は車を乗載させたり、人身事故につながる危険性がありますので、必ず遵守して下さい。

- 保守作業は必ず実施して下さい。
- リフト上での乗降は行わないで下さい。
- リフト上昇、下降中は絶対に車庫の下に入らないで下さい。
- リフトが電力を失える場合は、機体状態の異常が原因でありません。
- 車庫の所定のフランクポイントに駐車台を確実に合わせて、不安定な上げ方にならないようして下さい。
- 駐車リフト枠を正しい傾斜角度に調整して下さい。
- リフト車庫の上昇は、上昇途中で急な上昇を伴わず、適切にリフト枠が動作します。この場合、異常を発生させず、正確に動作させないで下さい。
- 移動用モーター部のトルクミスターは、高い動作速度を確保して下さい。
- 駐車台の回転は、常に正確に動作させないで下さい。
- リフト上で乗降する場合は、下記のようにフラスをしっかりとして下さい。
- リフト上で乗降する場合は、乗降機のカースを正確に、リフト、コーナーランプ、駐車等に絶対に接触しないして下さい。乗降機のカースがそれぞれに接続されていると、乗降機が脱線、コードが断れ、しかもシンク内部でスパークが飛び、乗降機が破損します。

図解 (乗降機) に
乗降機カースをしっかりとして下さい。

(保守点検)

● 各部点検、点検時に必ず注意して下さい。

1年点検

- 車庫上昇、下降、移動がスムーズに動作する。
- 上昇時、安全がしっかりと確保される。
- フランクポイントの傾斜に正確、垂直、変形、摩耗がない。

6ヶ月点検

- 駐車台の点検。
- 動作機の状態。
- 駐車台への入り、車庫に異常はない。
- ポスト部は正確、垂直、傾斜に異常がない。

1年点検

- 駐車台の点検。
- 自然落下の危険性の点検。
- レール、ポスト、吊、各部の汚れ、腐蝕の清掃、塗装を行う。
- 電気配線の点検。

3年点検

- 駐車台 (真正ホース) を交換して下さい。

① 警告シール

警告

ここに示す警告事項は、リフトの取扱方法を誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される事柄です。

警告ラベルは大切に使用して下さい。剥がれや汚損された場合は、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付して下さい。

SA7780

②危険シール

危険

操作中は車の下に
立入禁止

● 車が落下し、死亡又は重傷事故の危険がある。

車が落下しそうな時は
支えなくて逃げる

● 車が落下し、死亡又は重傷事故の危険がある。

ここに示す危険事項は、リフトの取扱方法を誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う危険が想定される事柄です。

警告ラベルは大切に使用して下さい。剥がれや汚損された場合は、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付して下さい。

SA7780

④型式シール(サンプル)

NO. _____ DATE _____

CAPACITY _____ LIFT _____

POWER SOURCE _____ MOTOR _____

⑤注意喚起ステッカー

リフト拡張操作可能範囲

- ・駐車台梁高さ30cm未満
- ・リフトに掛かる荷重500kg未満

注意

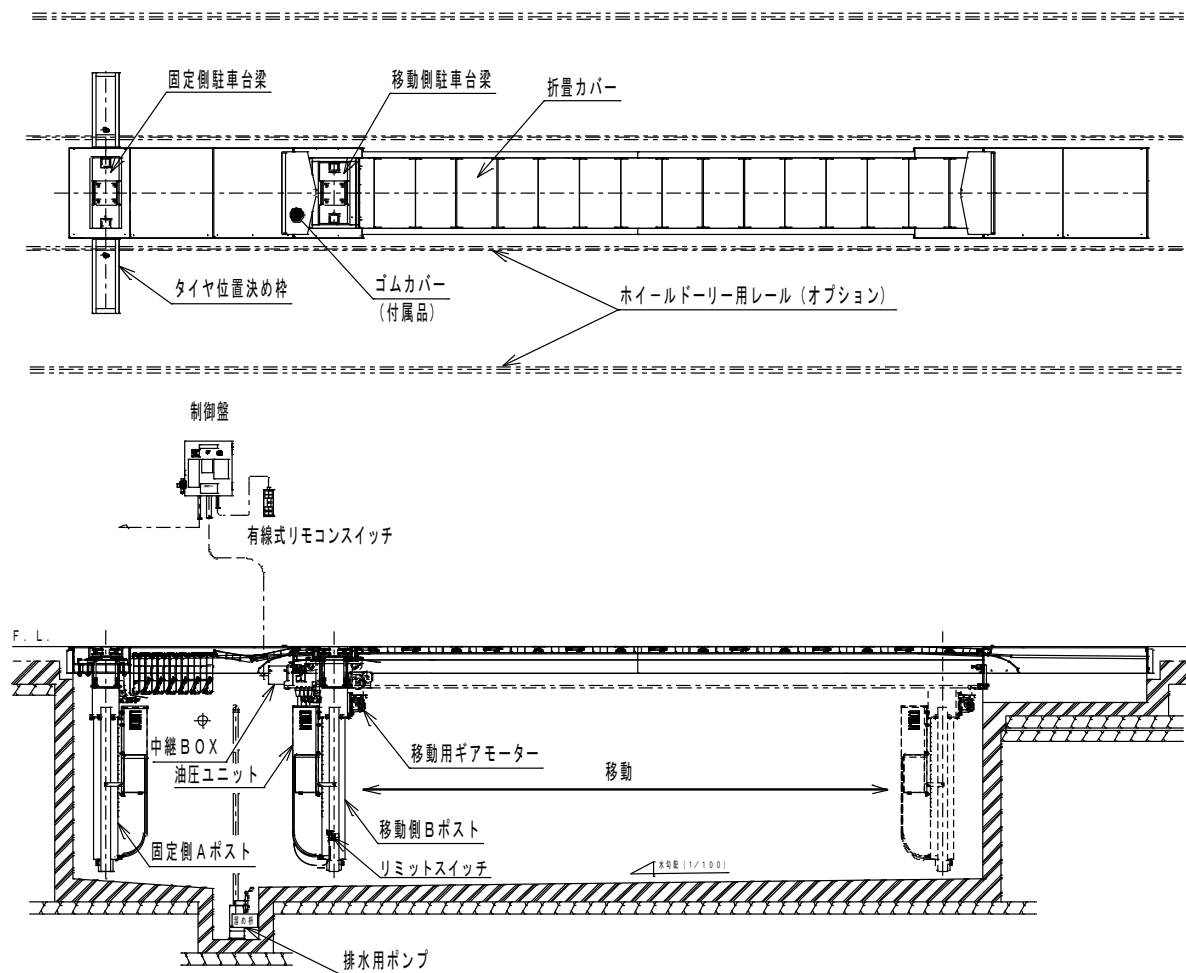
部品を外したり、キャビンをチルトさせた場合は
リフトに掛かる荷重が軽くなります。

※誤操作により、思わぬ事故に繋がる可能性があります。

4. 構造及び各部の名称

4-1. 構造及び各部の名称

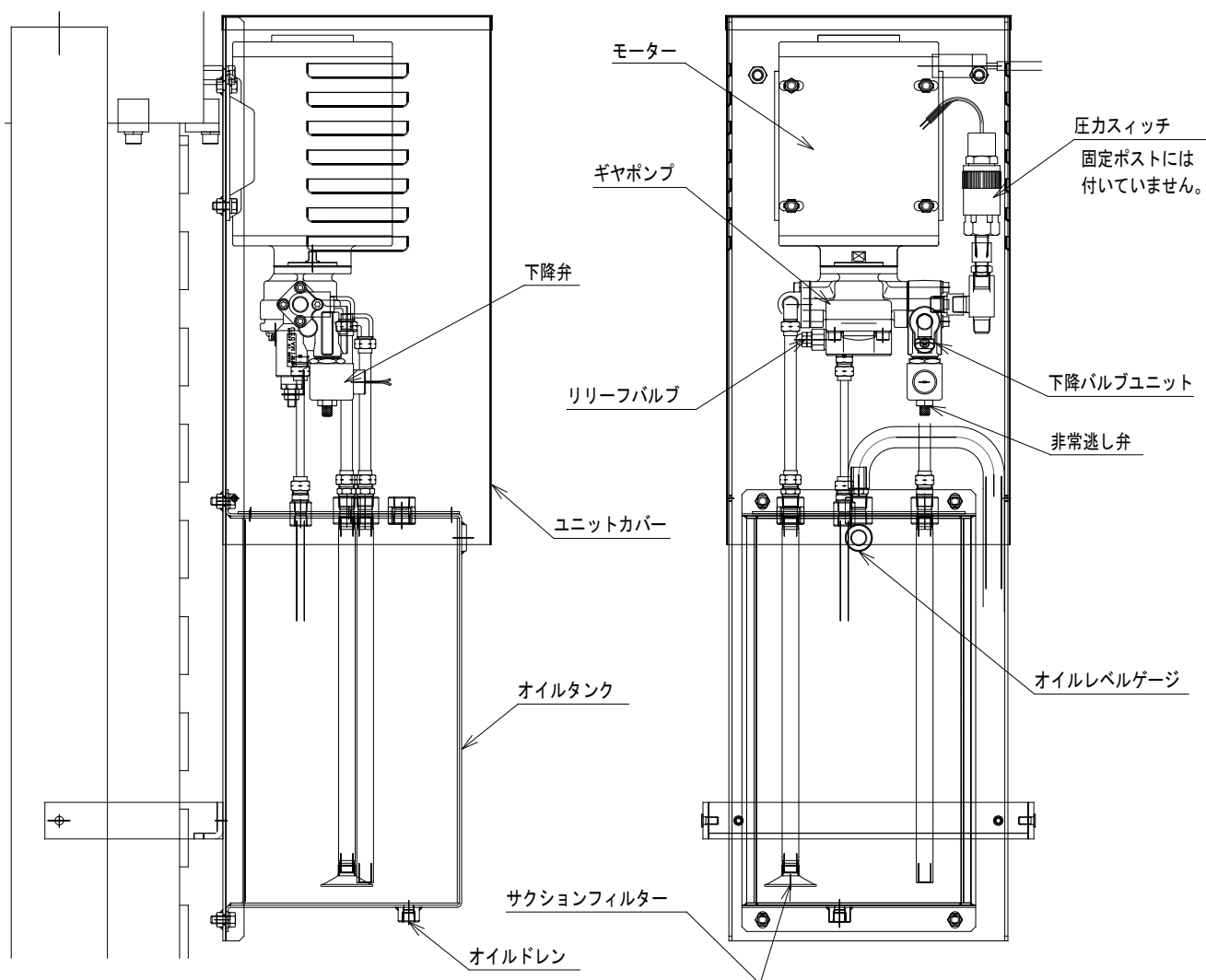
① 本体



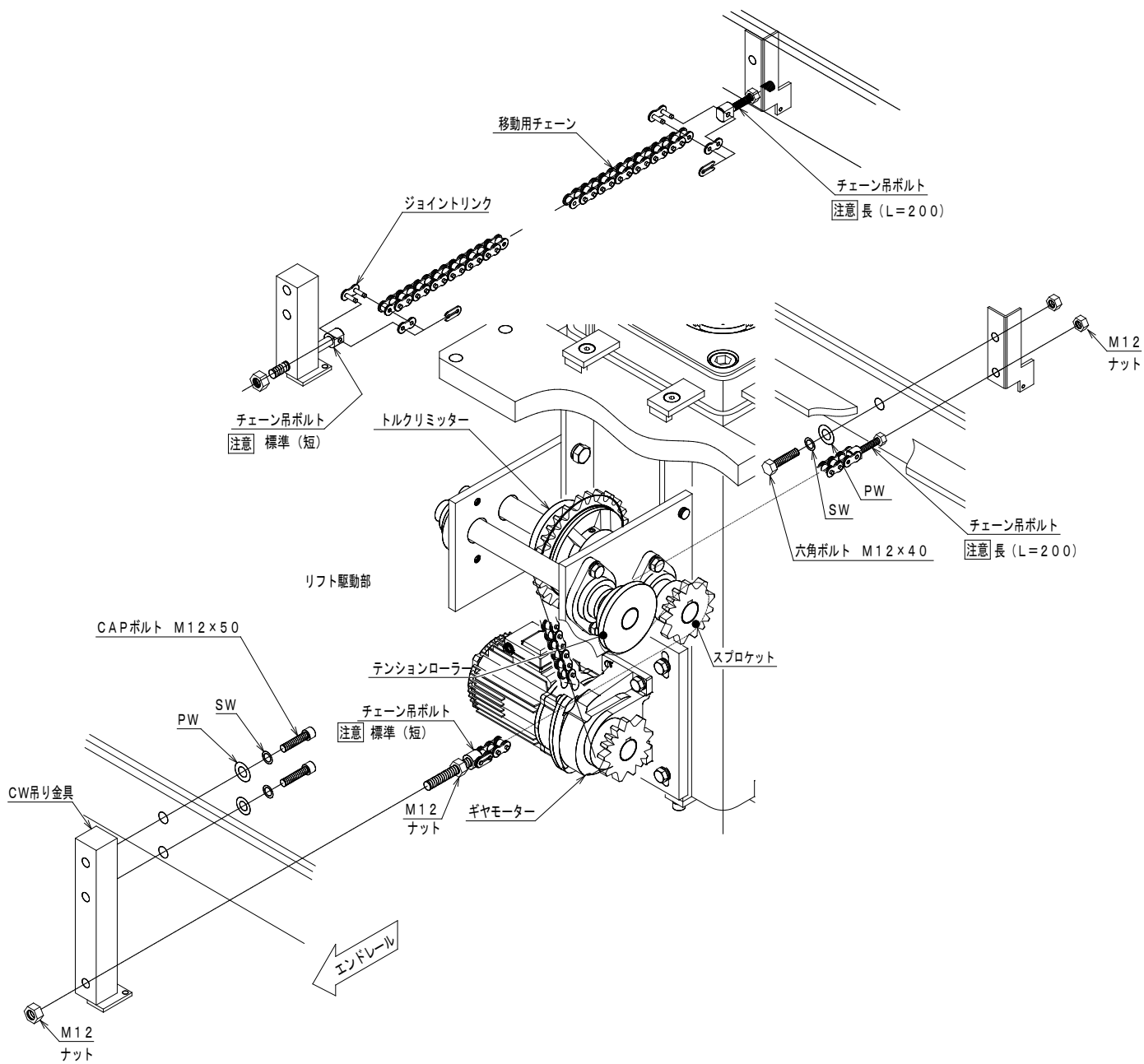
⚠ 注意

本リフトは屋外設置及び洗車仕様にはなっていません。
洗車や屋外では使用しないでください。

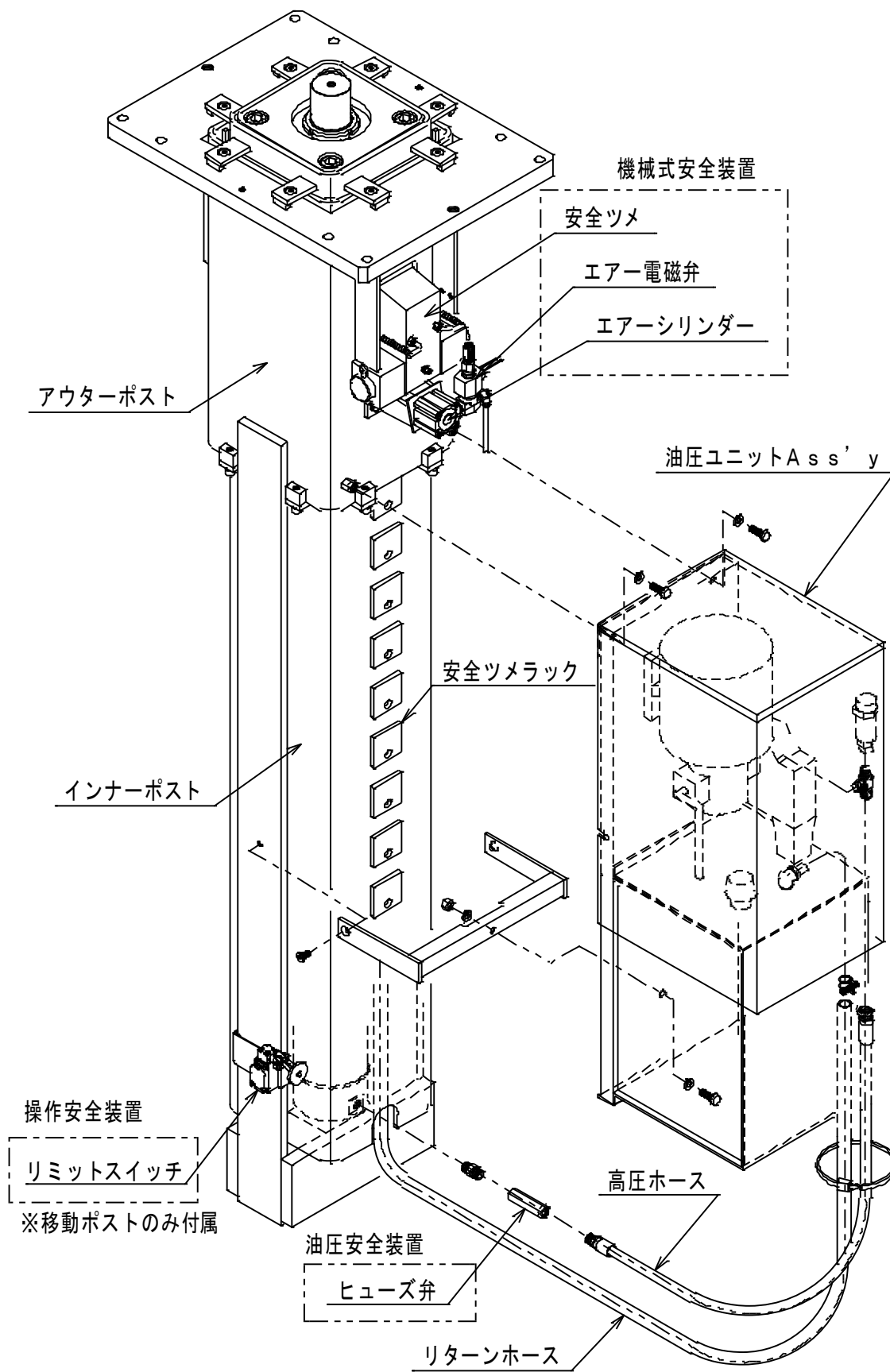
②油圧ユニット



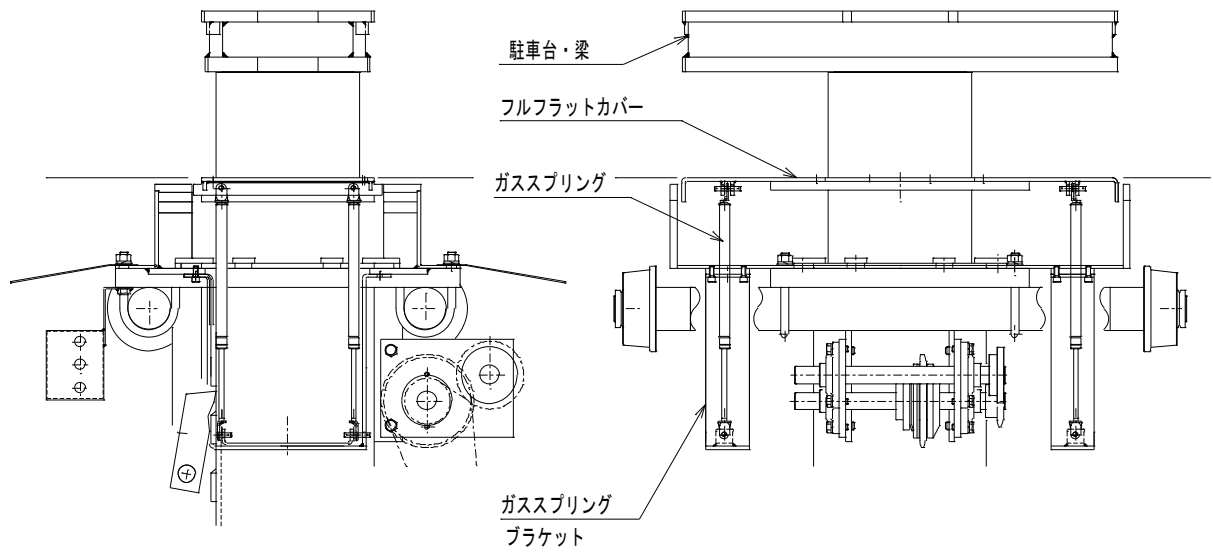
③移動側ポスト駆動装置



④リフト(ポスト)本体

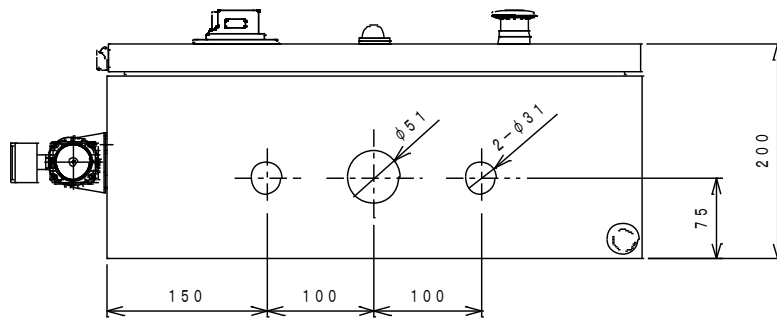
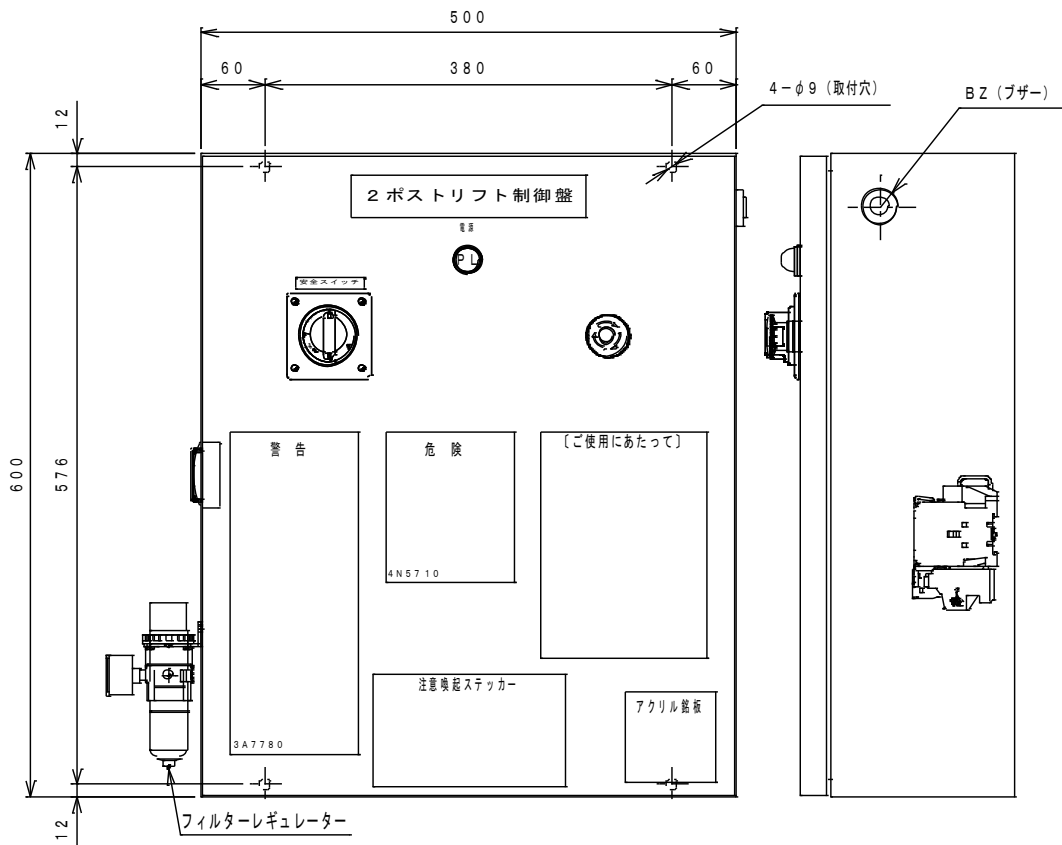


⑤フラット機構



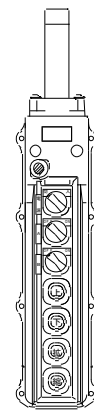
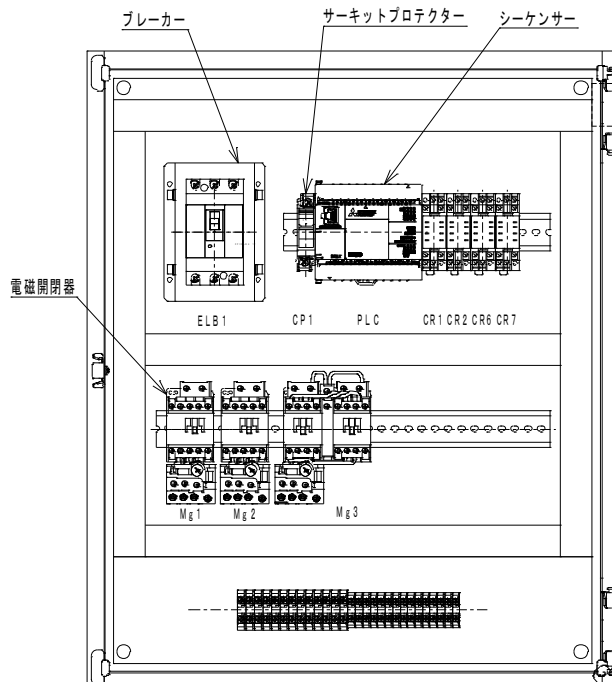
⑥制御盤 <有線リモコン式(無線なし)>

LM3132-20CF-F



操作スイッチ

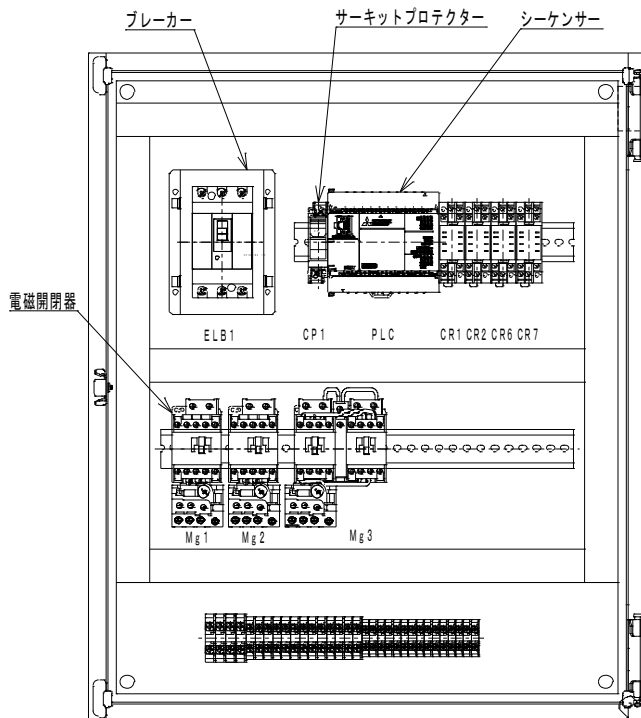
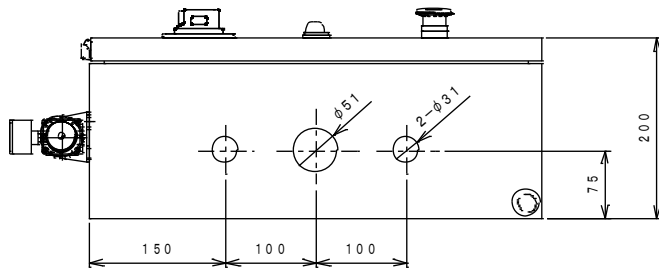
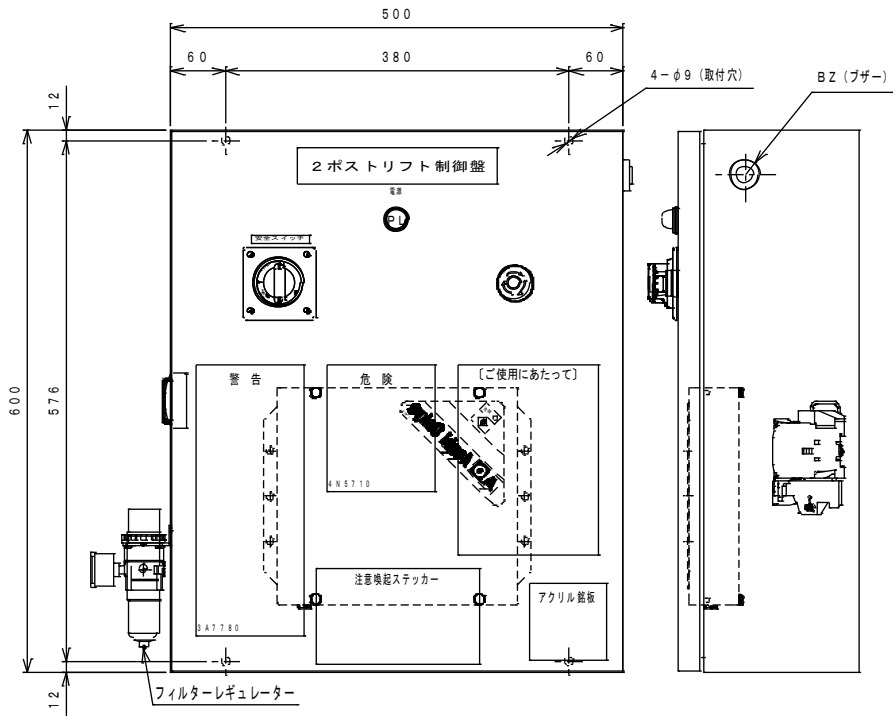
<有線リモコン>



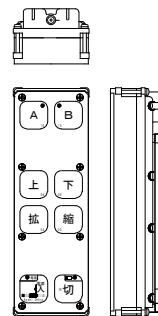
COB807 (春日電機)
(縦310×横82×高さ37)

⑦制御盤 <無線リモコン式>

LM3132-2RCF-F



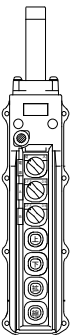
<無線リモコン>



送受信機：スリムケーブレス5000Nシリーズ（朝日電機製）
縦：196mm 横：64mm 高さ：48mm

型式：RC-5809N30808（3post共通品）
A、Bスイッチ箇所には、LEDランプ（オルタネイト動作）が付く。

<有線リモコン>



COB807（春日電機）
（縦310×横82×高さ37）

5. 各装置の使い方

5-1. 操作スイッチ(有線リモコン式)

各リフト(ポスト)の上昇、下降、及び移動を行う、有線リモコン式操作スイッチです。

- ① 操作スイッチの電源セレクトスイッチを「入」側に回すと電源ランプが点灯し、各スイッチが有効になります。

「切」側に回すと電源ランプが消灯し、各スイッチが無効になります。

- ② 「A」、または「B」のセレクトスイッチを「ON」側「OFF」側に回す事により、各リフトの動作の有効・無効を選択する事が出来ます。

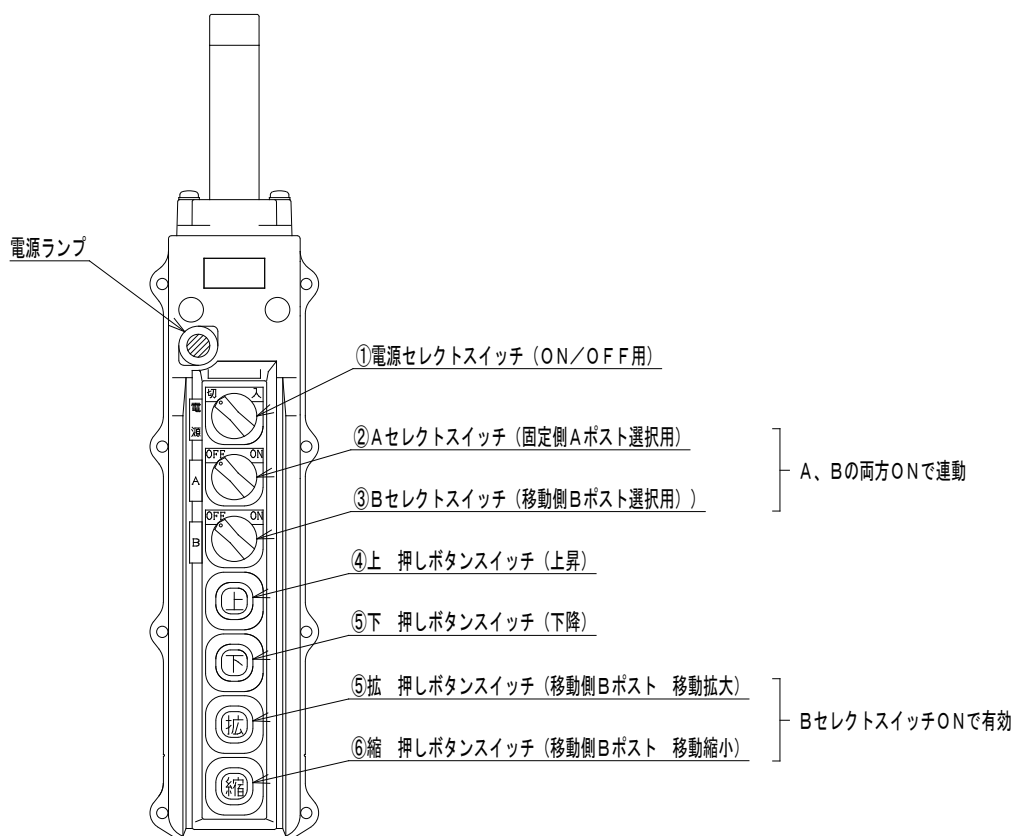
(操作スイッチの A は「固定側 A ポスト」、B は「移動側 B ポスト」を表します)

例えば固定側 A ポストを単独で動かしたい場合は、「A」のセレクトスイッチを ON 側に選択し、

「B」のセレクトスイッチは OFF を選択すれば固定側 A ポストを単独で動かす事が出来ます。

また、「A」と「B」のセレクトスイッチ両方を ON で選択した場合、A ポストと B ポストを連動させる事が出来ます。

- ③ 「上」押しボタンスイッチは、押している間、リフト(ポスト)が上昇します。
- ④ 「下」押しボタンスイッチは、押している間、リフト(ポスト)が下降します。
- ⑤ 「拡」押しボタンスイッチを押すと移動側 B ポストが移動します。
(ホイールベース拡大方向に移動)
- ⑥ 「縮」押しボタンスイッチを押すと移動側 B ポストが移動します。
(ホイールベース縮小方向に移動)



5-2. 操作スイッチ(無線リモコン式)

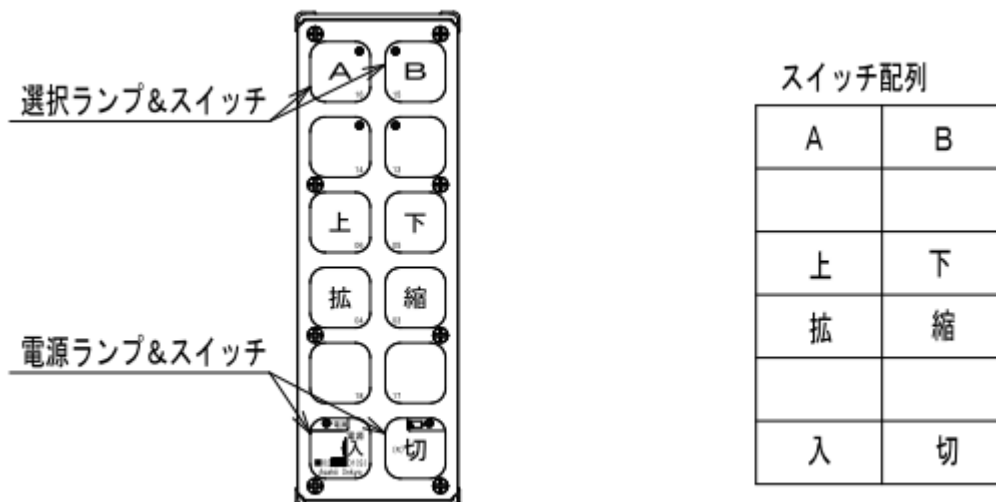
各リフト(ポスト)の上昇、下降、及び移動を行う、無線リモコン式操作スイッチです。

電源は「入」ボタンを押すと電源ランプが点灯し、各スイッチが有効になります。

「切」ボタンを押すと電源ランプが消灯し、各スイッチが無効になります。

「A」又は「B」ボタンを押すとそれに対応するランプが点灯します。再度ボタンを押すと消灯します。(オルタネイト動作)

※オルタネイト動作は、「入」、「A」、「B」ボタンのみ



⚠ 注意

ポストの上昇・下降操作中、及び移動ポストの移動操作中は、ブザーが断続的に鳴り続けます。

①操作手順

- ・盤内のブレーカーとサーキットプロテクターを ON にします。この時、盤前面の電源ランプが点灯する事を確認してください。
- ・無線/有線切換スイッチで使用するリモコンを選択します。
- ・リモコンの「入」スイッチを押し、リモコンの電源ランプが点灯する事を確認してください。

②上昇・下降操作

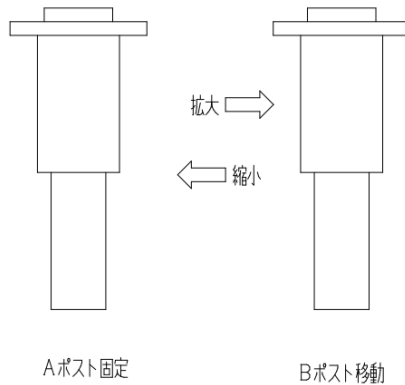
- ・操作スイッチで動作させたいポストを選択します。選択したポストに対応するランプが点灯します。選択を解除したい場合、再度そのスイッチを押すとランプが消灯します。
- ・「上」「下」ボタンを押し、ON する事により作動します。
尚、リフトの高さに差がでる場合がありますので十分注意して操作してください。

⚠ 注意

複数のポストを連動で下降させる場合、約 0.5 秒間上昇してから下降を開始します。この動作は、安全爪を確実に外す為の動作であり異常ではありません。単独で下降させる場合は、一旦上昇はせず、そのまま下降します。

③ 拡大・縮小

- ・選択スイッチで 動作させたいポストを選択します。選択したポストに対応するランプが点灯します。選択を解除したい場合、再度そのスイッチを押すとランプが消灯します。
- ・「拡」 「縮」 ボタンを押す事により作動します。
拡大・縮小の移動方向は下記の様になります。



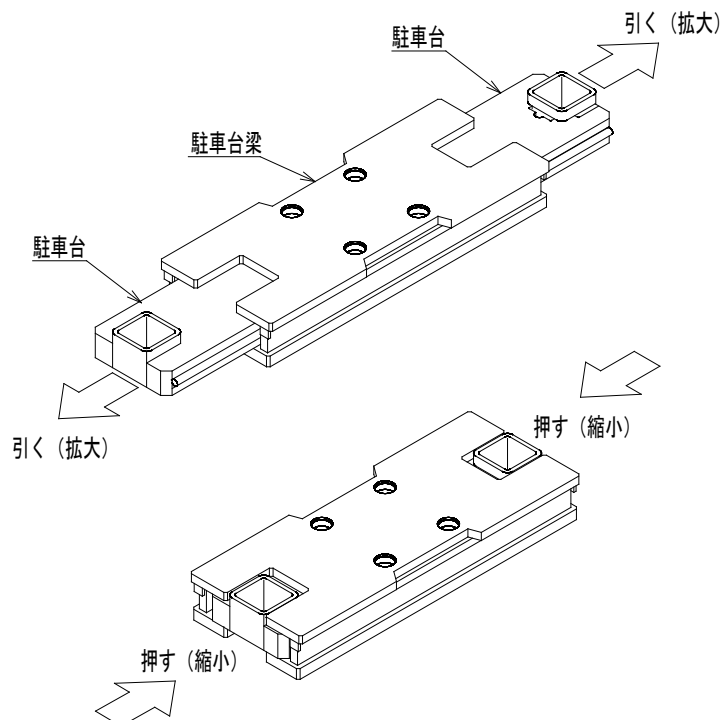
⚠ 注意

移動側ポストの駐車台に荷重がかかっている場合とポストが 300mm 以上上昇している場合、安全の為に移動ポストが移動出来ない仕様になっております。
リフトの異常ではありませんので注意してください。

- ④ 作業を終了する場合は、「切」ボタンを押します。同時に電源ランプが消灯します。
電源ランプが消灯すると、各操作スイッチは無効になり、押しても動作しません。

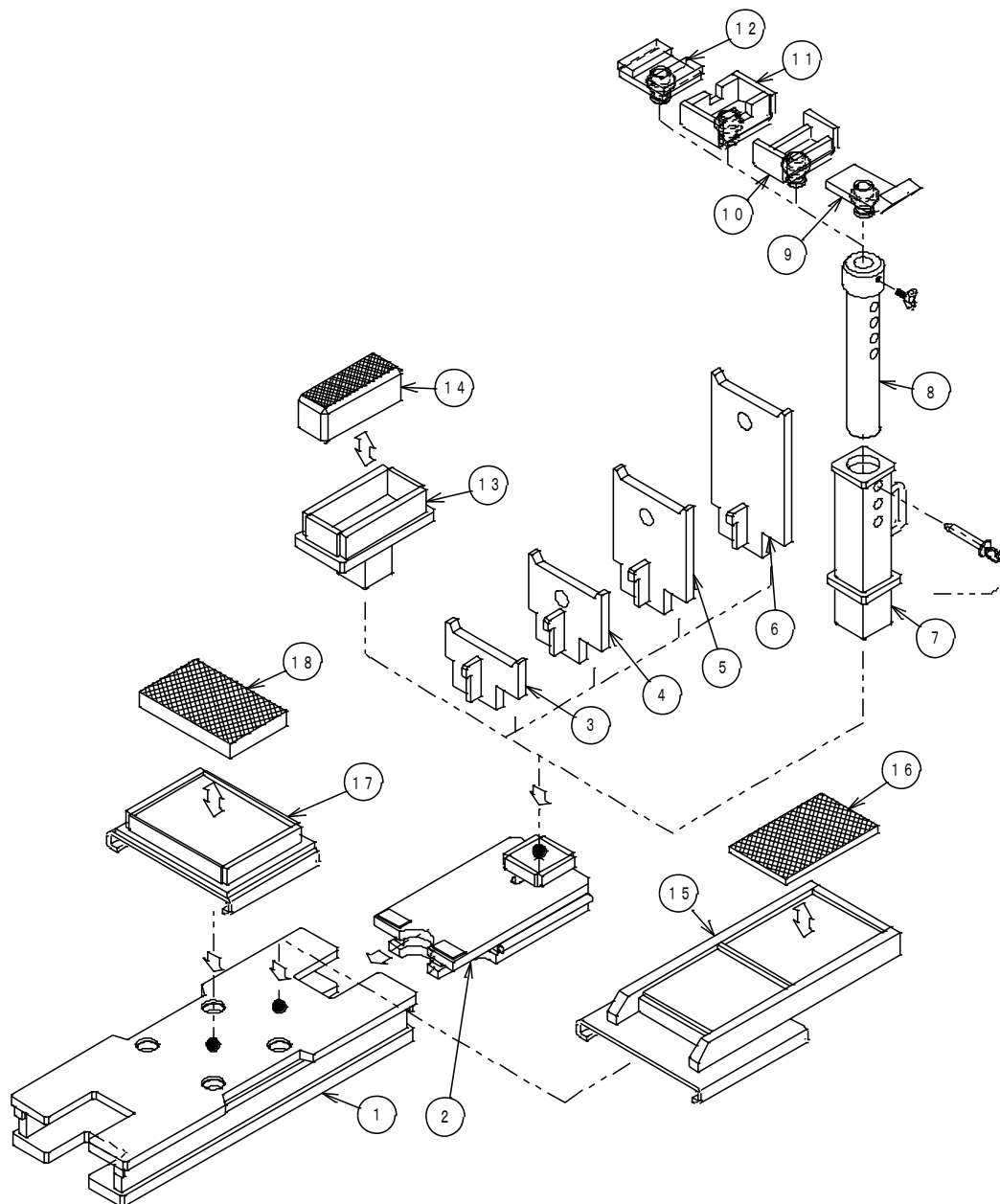
5-3. 駐車台

リフトアップポイントの幅に合わせて、駐車台の拡縮を行ってください。



5-4. アタッチメント類

リフトアップポイントの形状に合わせて、適切なアタッチメントを選択してください。



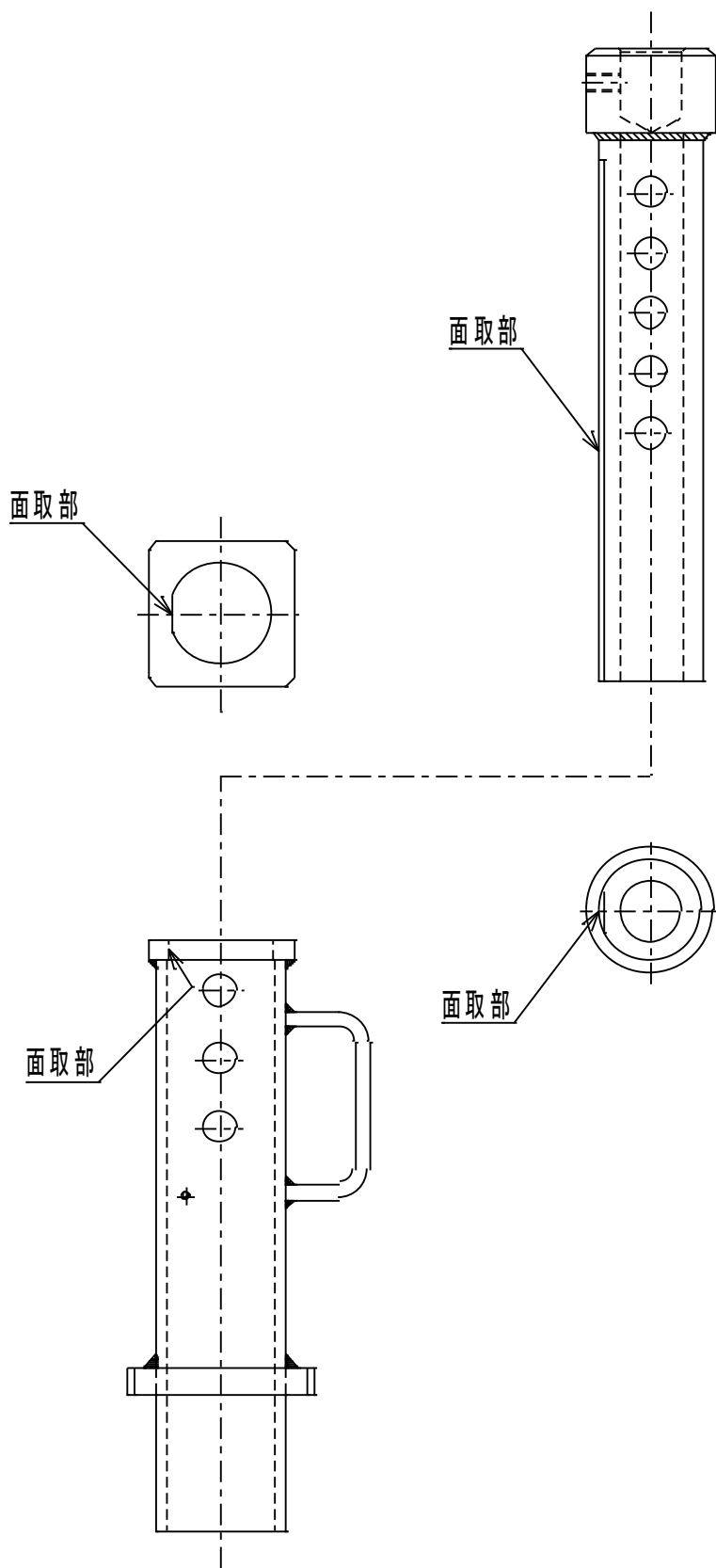
| No. | 名 称 | 個 数 | No. | 名 称 | 個 数 |
|-----|-----------------|-----|-----|-------------------------|-----|
| 1 | 固定・移動用 駐車台梁 | 各 1 | 10 | フレームアタッチメント・B (オプション) | 2 |
| 2 | 固定・移動用 駐車台 | 各 2 | 11 | フレームアタッチメント・C (オプション) | 2 |
| 3 | アクスルアタッチメント・45 | 2 | 12 | フレームアタッチメント・D (オプション) | 2 |
| 4 | アクスルアタッチメント・110 | 2 | 13 | トラニオンアタッチメント | 2 |
| 5 | アクスルアタッチメント・200 | 2 | 14 | トラニオン用木製受台 | 2 |
| 6 | アクスルアタッチメント・250 | 2 | 15 | エアサスアタッチメントサイド (オプション) | 2 |
| 7 | フレームラック A | 2 | 16 | エアサス用ウレタン受台サイド (オプション) | 2 |
| 8 | フレームラック B | 2 | 17 | エアサスアタッチメントセンター (オプション) | 1 |
| 9 | フレームアタッチメント・A | 2 | 18 | エアサス用ウレタン受台センター (オプション) | 1 |

※特殊アタッチメント等に関するご要望等は、販売店へお問い合わせください。

注記: フレームラック受台とフレームラック用シャフトは挿入位置が決まっています。

必ず、面取部を合わせて挿入を行ってください。無理に挿入すると抜けなくなる場合がありますので注意してください。

フレームラック用シャフト



フレームラック受台

5-5. フィルターレギュレーター

フィルターは、エア中のゴミ・水分をろ過する機能を持っています。

注意

フィルターレギュレーターに供給するエア圧力は0.7MPa以上、0.97MPa以下としてください。0.98MPa以上の圧力でエア供給した場合、エアユニットが破損する可能性があります。

<水抜き方法>

水抜きボタンを押すとエアと溜まった水が吹き出てきます。

水が出なくなるまで水抜きボタンを押してください。

注意

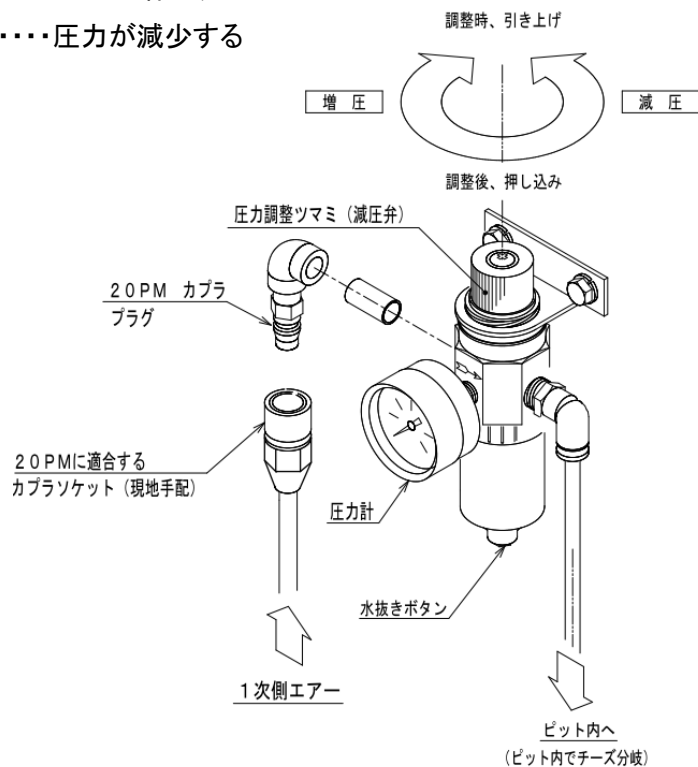
フィルターは毎日水抜きを行なってください。
水が溜まったまま使用していると故障の原因になります。

レギュレーターは供給される0.7～0.97MPaのエア圧力を適正な圧力に減圧する機能を持っています。（出荷時0.6MPaに調整してあります。）

圧力を調整する場合は、圧力調整ツマミを引き上げて、圧力計の指示値を確認しながら0.6MPaに調整してください。

調整が終わりましたら、圧力調整ツマミを下に押し込んでください。

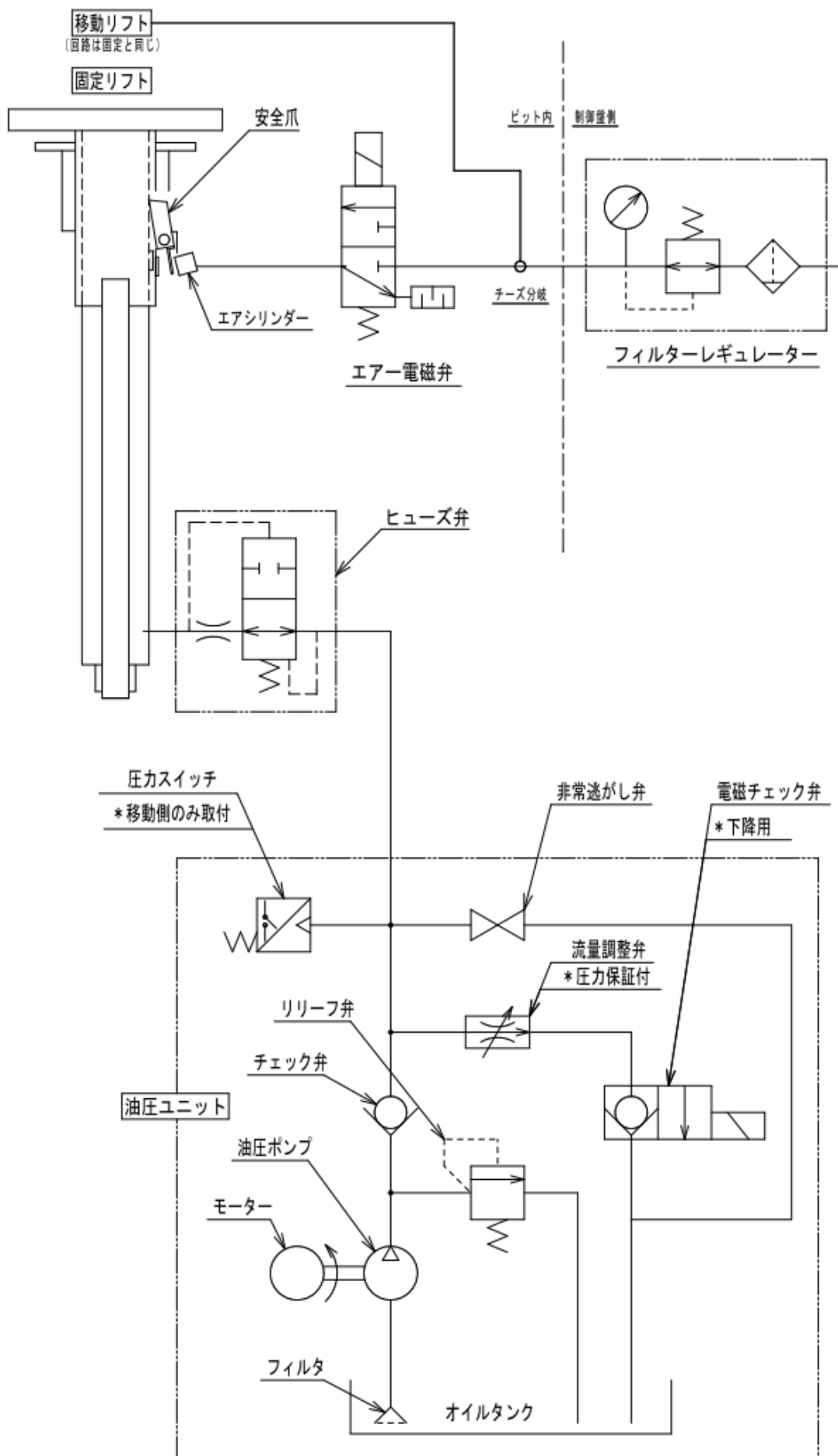
- ・右回転……圧力が増加する
- ・左回転……圧力が減少する



注意

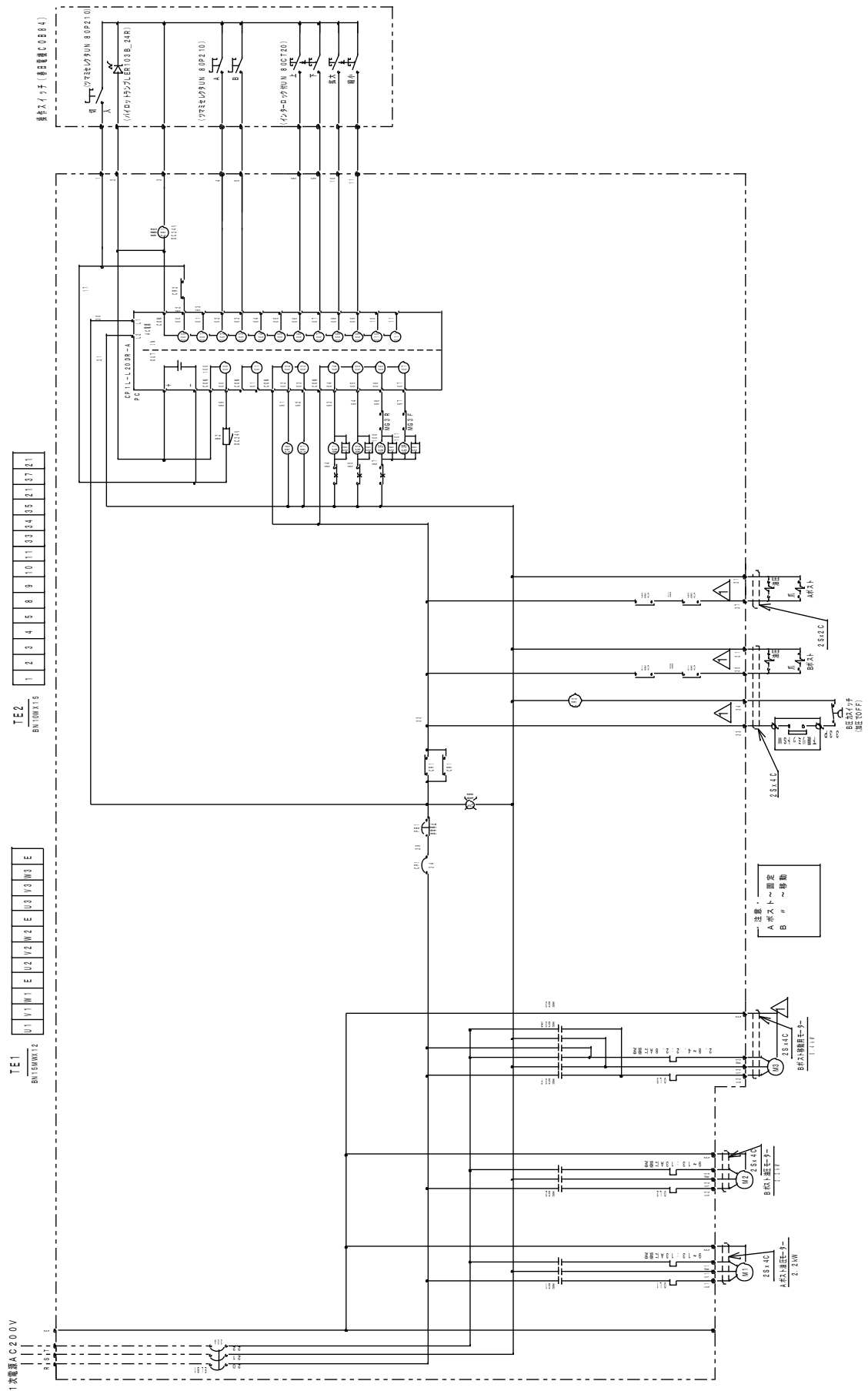
調整は必ず右回転(増圧)方向で行い、高すぎた場合は、一旦低い圧力に下げ、もう一度ゆっくり右回転で合わせてください。

6. 油空圧回路

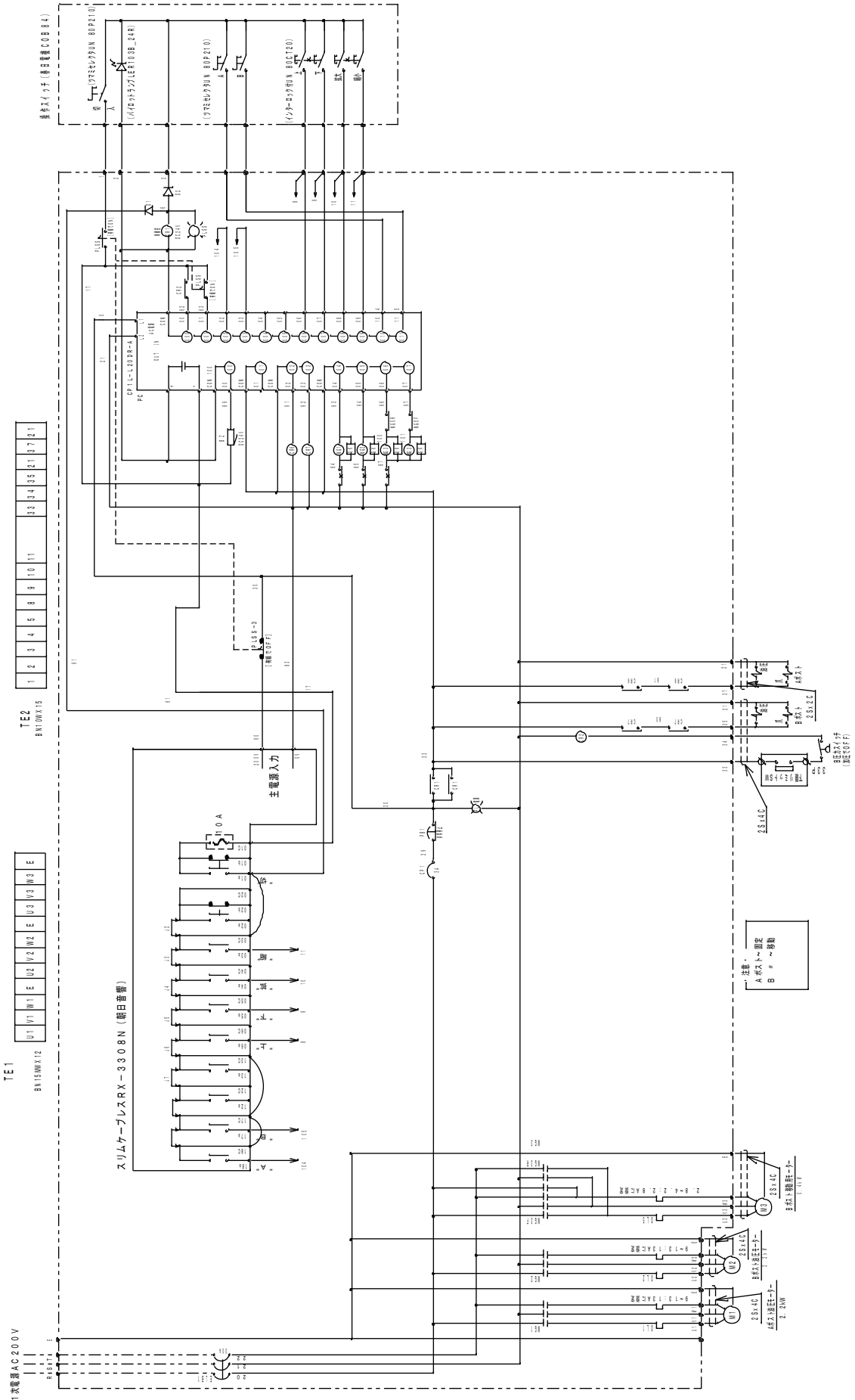


7. 電気制御回路

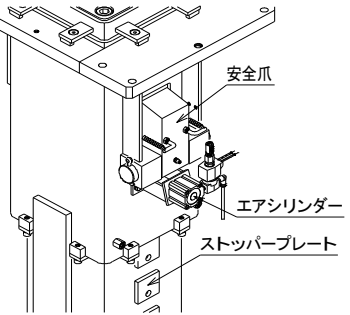
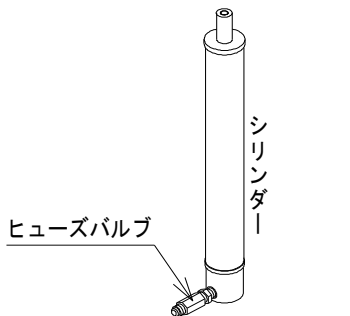
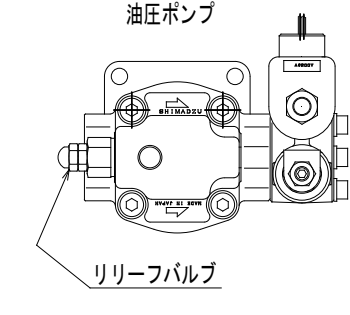
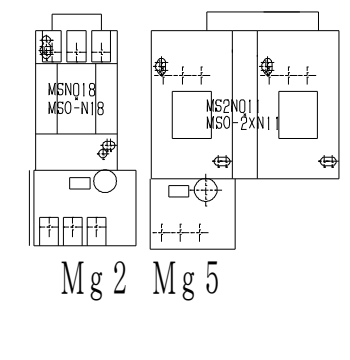
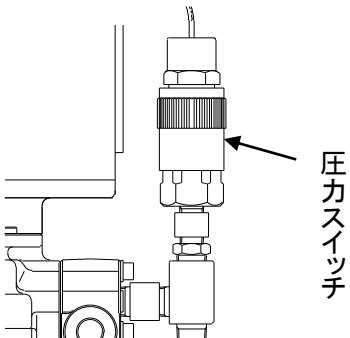
7-1. 有線リモコン式(無線リモコンなし) 回路図

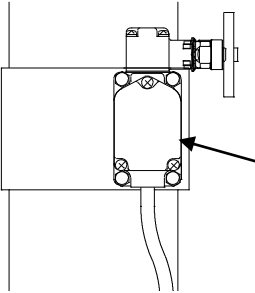
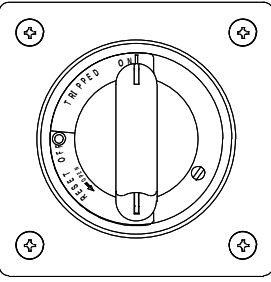


7-2. 無線リモコン式 回路図



8. 安全装置

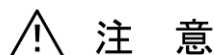
| 略 図 | 名 称 | 目 的 |
|--|--------------------------|--|
|  <p>安全爪 エアシリンダー ストッパープレート</p> | <p>下降防止装置</p> | <p>安全爪によって、作動油の漏れや油圧ホースの破裂時等に、リフトの下降を防ぎます。 解除にはエアシリンダーを使用して安全爪を解除させています。</p> |
|  <p>シリンダー ヒューズバルブ</p> | <p>ヒューズバルブ (断流弁)</p> | <p>油圧シリンダー下部に設けられており、油圧配管の破損等があった場合、油圧シリンダーからの急激な作動油の流出を遮断するバルブです。</p> |
|  <p>油圧ポンプ リリーフバルブ</p> | <p>リリーフバルブ</p> | <p>油圧ポンプに内蔵されており、リフトの能力を超える車を上昇させようとした場合や、リフトが最上限まで到達した場合、また何らかのトラブルで油圧回路の圧力が異常に上昇した場合等に油圧の上昇を抑えてリフトの破損、事故を防ぎます。</p> |
|  <p>Mg2 Mg5</p> | <p>電磁開閉器</p> | <p>過負荷電流を探知し、電気回路を遮断して電気機器を保護します。 ※サーマル設定値 Mg1: 13A 固定側Aポスト油圧ユニット用 Mg2: 13A 移動側Bポスト油圧ユニット用 Mg5: 2.8A 移動モーター用</p> |
|  <p>圧力スイッチ</p> | <p>圧力スイッチ</p> | <p>車両を上げている時、油圧シリンダー内の圧力を検知して、移動側リフトの移動を制限します。(移動側ポストのみ) ※設定圧力 1.0MPa (10.6 kg/cm²) 車両重量約 500kg 以上で検知 ※移動ポストのみについています</p> |

| | | |
|---|-----------------|--|
| <p>※ポスト下部</p>  <p>リミットスイッチ</p> | <p>リミットスイッチ</p> | <p>リフトが 300mm 以上上昇した場合に、リミットスイッチが作動し、移動ポストの拡張を作動不可状態にします。</p> <p>※移動ポストのみについています</p> |
|  | <p>安全スイッチ</p> | <p>一次側電源を ON/OFF することができます。リフト作動中に異常があった場合は、スイッチを OFF 側に切り替えることで瞬時にリフトを停止させることができます。</p> |

9. 使用方法及び使用上の注意

9-1. 始業点検

毎日の作業前に必ず始業点検を行なってください。尚、点検の際は、リフトエリアに車が無い状態で行ってください。(リフトアップ状態での点検は、行わないでください)



注 意

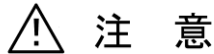
**異常と思われる箇所が発見された場合は、お買い上げの販売会社まで御連絡ください。
また、異常個所の修復を完全に行うまでリフトの使用を禁止してください。
そのまま使用されますとリフトの破損、及び重大な事故につながる危険性があります。**

※1 締付トルク 69～88N・m (7～9 kgf・m)

| 点 検 箇 所 | 内 容 | 方 法 | 処 置 |
|-----------|---|----------------------------------|---|
| 駐車台 | ・駐車台の固定ボルトの緩み ・アタッチメント等の変形、破損、摩耗 ・アタッチメント等の汚れ(水、油、泥) | 締付 目視 目視 | ・増締 ※1 ・交換 ・清掃 |
| フラットカバー部 | ・スムーズに上昇・下降するか ・異常、ガタつきはないか ・破損、変形、ヘコミはないか | 目視 聴取 目視 | ・清掃・給脂 ・販売会社へ連絡 ・販売会社へ連絡 |
| 本 体 | ・オイル漏れ ・スムーズに上昇・下降するか ・異常、ガタつきはないか ・上昇時に安全爪が作動し、一定間隔のラチェット音がするか ・インナーポストの表面に錆の発生がないか、又潤滑油が塗布してあるか ・破損、変形、ヘコミはないか | 目視 目視 聴取 聴取 目視 目視 | ・販売会社へ連絡 ・販売会社へ連絡 ・販売会社へ連絡 ・音がしない場合は販売会社へ連絡 ・グリスの塗布 ・販売会社へ連絡 |
| 油圧ユニット | ・オイル漏れ ・昇降時の異音 | 目視 聴取 | ・販売会社へ連絡 ・販売会社へ連絡 |
| エアースystem | ・エアースystem圧力は適正か ・エアースystem漏れ | 目視 目視 | ・調整 0.6±0.02 MPa ・販売会社へ連絡 |
| 操作スイッチ | ・変形、割れ、破損はないか ・スイッチは手を離すと戻るか ・ケーブルに傷や変形はないか | 目視 触取 触取 | ・販売会社へ連絡 ・販売会社へ連絡 ・販売会社へ連絡 |

9-2. 車の乗り入れ前に

- ① リフトが最低位置の状態を確認し途中で停止している場合は最低位置まで下降させてください。
- ② 駐車台にアタッチメントが付いている場合は、車両に接触しないか高さ等を事前に確認してください。

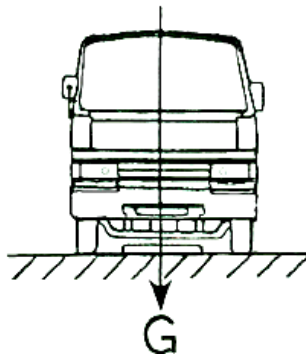


注意

乗り入れ前に、リフト(梁)が最低位置まで下降していることを確認してください。
駐車台にアタッチメントが付いている場合は、車に接触しないことを事前に確認してください。車に接触した場合は、リフトや車を破損する恐れがあります。

9-3. 車の乗り入れ

- ① リフトに対して、車が左右均等になるように、静かに乗り入れてください。



- ② 固定側のタイヤ位置決め枠(タイヤ落とし)に、車のフロントタイヤ又はリヤタイヤを合わせて停車してください。
- ③ 停車後に停車位置を再確認し、所定位置でない場合等は、修正を行ってください。
- ④ 固定側Aポストの駐車台が伸縮出来る高さまでリフト(ポスト)を上昇させてください。
- ⑤ 駐車台と車との隙間(高さ)に合わせ、アタッチメントを選び、駐車台に差し込んでください。
※アタッチメントを外さないで使用する場合は、車の進入の際に干渉に注意してください。
- ⑥ 駐車台を伸縮させ、リフティングポイントに合わせてください。
- ⑦ 移動側Bポストの駐車台位置を、操作スイッチの「拡」、又は、「縮」のボタンを押して、車のリヤ、又はフロント側のリフティングポイントに移動させてください。
- ⑧ 移動側 B ポストの駐車台が伸縮できる高さまでリフト(ポスト)を上昇させてください。
- ⑨ フレームラック Assy を駐車台に差し込んでください。(必要に応じ、高さを調節してください)
- ⑩ フレームラック Assy をスライドさせ、リフティングポイントに合わせてください。

※上記は一般的なフロント進入のリフトアップ方法です。

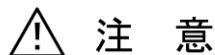
車種に応じて最適な付属のアタッチメントを選定しご使用ください。

9-4. リフティングポイント



警告

アタッチメントは指定されたリフティングポイントに正しく当ててください。



注意

エアサス車をリフトアップする場合は、ヘローズ(空気ばね)を破損する場合がありますので、該当車の車両整備要領書等(取扱説明書等)に従い、正しくリフトアップしてください。

- ① 固定側Aポストを操作スイッチで「A」を選択して「Ⓢ」ボタンを押して上昇させてください。アタッチメントが、リフティングポイントに接触する直前(20 mm程度)で停止させて、アタッチメントの位置を車のリフティングポイントに合わせてください。
- ② 移動側Bポストを①と同様にリフティングポイントに合わせてください。前後方向で位置の修正が必要な場合は、操作スイッチの「拡」、又は「縮」ボタンを押して移動側Bポスト移動させてください。
※この際、移動側Bポストを300mm以上上昇させている場合、安全面の都合により移動側Bポストを移動させることはできません。

9-5. 上昇操作



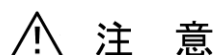
危険

操作中は車の下に立ち入り禁止。



警告

複数のポストを連動で上昇・下降の際に、前後リフトの上昇・下降速度に大きな差が出る場合は、直ちに使用を中止し、販売会社にご連絡ください。



注意

能力は 32000 kg
(固定側Aポスト 16000 kg + 移動側Bポスト 16000 kg)です。

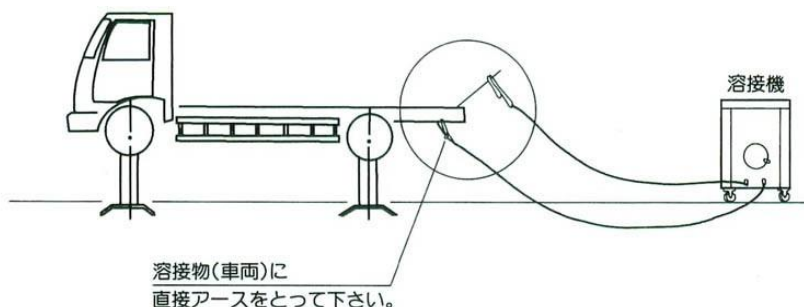
- ① 固定側Aポスト、及び移動側Bポストのアタッチメントがリフティングポイントに合っている事を確認してください。合っていない場合は確実に合わせてください。
- ② 固定側Aポスト、及び移動側Bポストを「⊕」ボタンを押して上昇させ、アタッチメントがリフティングポイントに正しく接触しているか確認してください。
- ③ 固定側Aポスト、及び移動側Bポストを「⊕」ボタンを押して車をリフトアップし、タイヤが約 20 mm程度浮き上がるまで上昇させてください。
- ④ 車を前後左右に揺すり、安定状態である事を確認してください。
- ⑤ 車を横から見て前後の水平状態を確認し、水平になっていない場合は、低い方のリフトを上昇させ車を水平にしてください。
- ⑥ さらにリフトを同時上昇させ、車を所要の高さまで上昇させてください。
- ⑦ 車によって、固定側Aポストと移動側Bポストの高さに段差がある場合、高い方のリフトが最高揚程に達したら、速やかに押しボタンスイッチを離してください。
押しボタンスイッチを押し続けると車の水平が損なわれ危険です。

⚠ 注意

油圧リリーフバルブを長時間作動させないでください。
能力荷重以上、又は上限で「上」押しボタンを押し続けるとリリーフバルブが作動して作動音を発します。押している時間は 5 秒以内としてください。

⚠ 注意

リフト上で溶接する場合は、リフト本体からアースを取らず、下図の様にアースを取ってください。
アースをリフト本体から取った場合、モーターのアース線を焼損したり、シリンダー内にスパークが飛んだりして、リフト損傷の原因となりますので注意してください。



9-6. 下降操作



警告

部品の脱着等の際に、棒及びリジットラック等を不安定にカマせての下降禁止。






警告

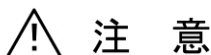
操作前・操作中はリフトの周囲や、車両の下に人や物がない事を確認してください。



警告

安全爪が作動状態の場合は、単動操作で下降しない場合があります。
この場合は、一旦少し上昇させてから(安全爪の作動を解除)下降させてください。

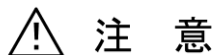
- ① リモコンスイッチの「」ボタンを押せば下降し、離せば停止します。リフトの周辺に人や物が無い事を確認し、リモコンスイッチの「」ボタンを押して下降させてください。
(連動の「」ボタンを押すと約 0.5 秒間上昇してから下降を開始します。これは安全爪を確実に外す為の動作で異常ではありません。)
- ② 前後のタイヤが着地し、アタッチメントがリフティングポイントを離れましたら停止させ、駐車台(アタッチメント)を縮めてください。
- ③ さらにリフトを最低位置まで下降させてください。



注意

リフトに供給されるエア圧力が低い場合は、下降ボタンを押してもリフトが下降しない場合があります。その場合は、フィルターレギュレーターの圧力計が 0.6MPa になっている事を確認してください。

9-7. 退出



注意

リフトが最低位置(最下位)まで下降し、アタッチメント(駐車台)が最縮に縮んでいる事を確認してください。

又、アタッチメント(駐車台)を縮めても車両に干渉する恐れのある場合は、アタッチメントを取り外してください。

リフトが最低位置(最下位)まで下降していない場合や、アタッチメントが外側に広がったまま退出した場合は、車に接触しリフトや車を破損する恐れがあります。

9-8. 終業点検

作業が終了しましたら、駐車台、アタッチメント、及びリフトのエリア内に付着したグリス等を拭き取ってください。

インナーポストの表面は、汚れを落としスライドパットの接触面にグリスを塗布してください。

又、外観上の異常が発見された場合は、お買い上げの販売会社までご連絡ください。

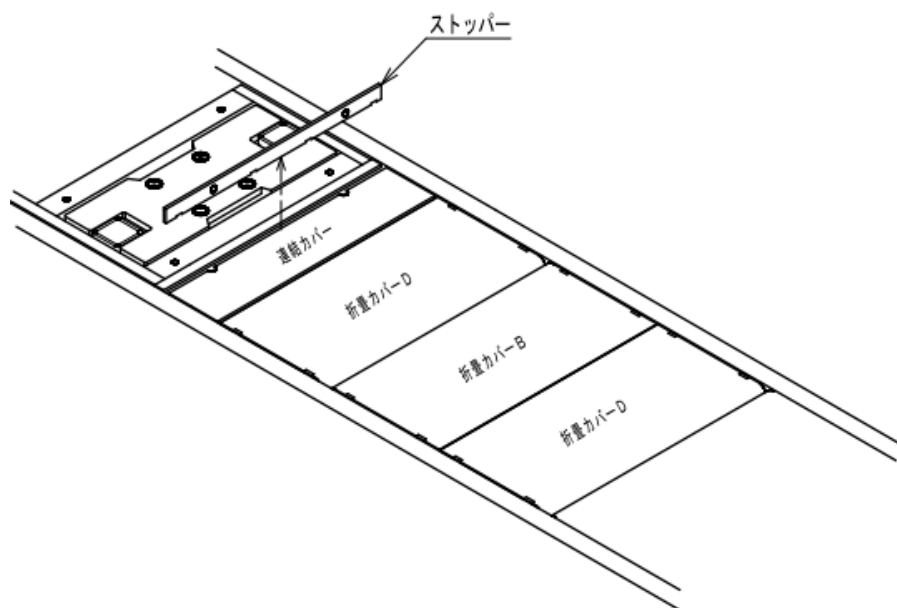
作業終了後は安全の為にリフトを最低位置(最下位)まで下降させ、電源(ブレーカー)を切ってください。

9-9. ピット内への進入方法

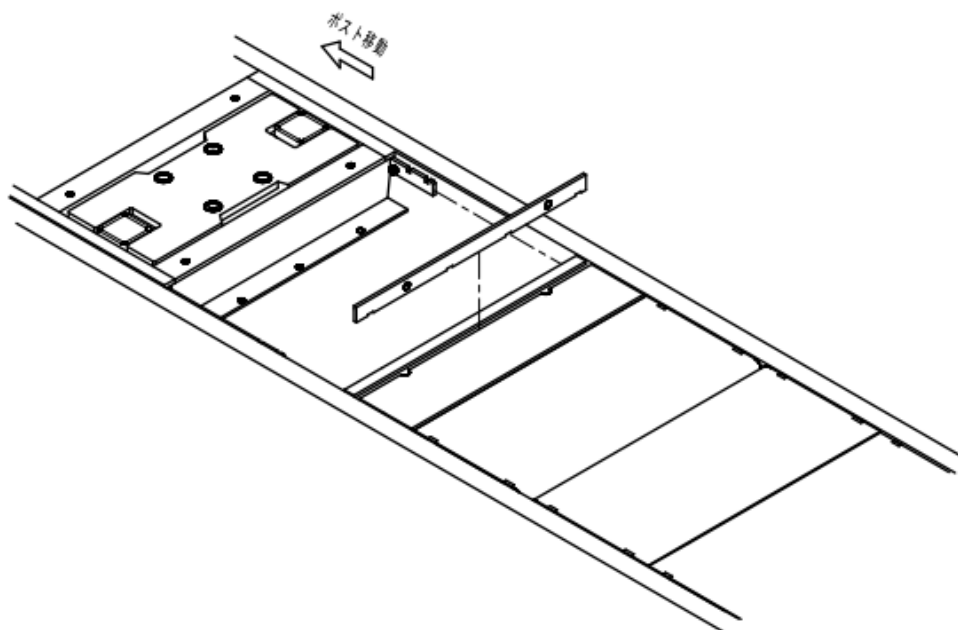
- ① 移動ポストをレール中央付近に寄せ、片方のストッパーを取り外してください。(下図参照)

⚠ 注意

収納レール又は、エンドレール付近(最縮または最拡付近)でストッパーを外した場合、折畳カバーが自重で収納レール又は、エンドレール内に引き込まれる可能性がありますので、十分注意してください。



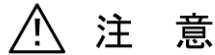
- ② 移動ポストを、外したストッパーの反対方向へ移動し、折畳カバーと切り離してください。



- ③ 移動ポストを移動した分、進入スペースが開口されます。脚立を掛けピット内に入ってください。
- ④ 元に戻す場合は、逆の手順で行い、ストッパーを確実に組付けてください。

10. 定期点検

安全にご使用して頂く為に、必ず定期点検を実施してください。



注 意

1. 点検の際取り外したカバー踏板等は、事故防止の為に点検後に必ず取り付けてください。
2. インナーポストとアウターポストには多少の隙間がありますが使用上は全く問題ありません。
(スライドパッドの隙間を「ゼロ」にしますとリフトの降下が極端に遅くなります。)

| 点検 期間 | 点検箇所 | 点検項目 | 点検要領 |
|-------------|--|--|---|
| 毎 週 | ・インナーポスト ・ピット内 | ・汚れはないか ・安全ラックの変形、割れ等がないか ・水溜りはないか | ・清掃する ・販売会社へ連絡 ・販売会社へ連絡 |
| 1 ヶ 月 | ・ピット内 ・オイル量 | ・汚れがないか ・オイルタンク内の作動油は適量か (タンク給油口より清潔な棒等をレベル ゲージ代わりとして入れて油量を確認) | ・清掃する ・油量確認する。不足時は補 給し、多い時は水の混入が 考えられるので、交換する |
| 6 ヶ 月 | ・リフト本体、 油空圧配管、移動部 ・制御盤 ・移動チェーン ・油圧シリンダー ・安全装置 | ・ボルト、ナット、配管等に緩みはないか ・各電気機器が正常に働いているか、端子台 の緩み、接点部の汚れ、焼損はないか ・マグネットスイッチ、リレーなどの端子台の緩 み確認 ・移動側ポストが中央の時、移動用チェーン のたるみは約 1m につき 10mm 程度であり、 左右のチェーンの張りのバランスが同じであ るか ・チェーンに錆はないか ・車をリフトアップし、10 分間に 1mm 以上、下 降するか(前、後インナーポストいずれか一 方でも)タイヤが 50mm 程度浮いた状態で計 測 ・安全爪軸への給脂 ・安全爪のリターンスプリングの異常や伸びが 無いか ・インナーポスト摺動部へのグリス給脂 ・リフト本体と油空圧配管等の緩み確認 ・継手、エアースホース類にひび・エア漏れは ないか | ・増締 (緩み時はその都度 実施) ・増締、交換 ※電源を切ってから行ってく ださい ・両端の調整ボルトで調整す る ・チェーンにはグリスを塗布 する ・販売会社に連絡 ・グリスニップルから給脂 ・交換 ・グリスを塗布する ・増締(緩み時はその都度実 施) ・増締又は交換 |

| 点検 期間 | 点検箇所 | 点検項目 | 点検要領 |
|--------------|---|--|--|
| 6 ヶ 月 | ・フラットカバー部 | ・スムーズに上昇・下降するか ・異常、ガタつきはないか ・破損、変形、ヘコミはないか | ・清掃・給脂 ・販売会社に連絡 ・販売会社に連絡 |
| 12 ヶ 月 | ・油圧ユニット ・ポスト ・レール、折畳カバー | ・オイルタンク内の作動油は適量か (オイルレベルゲージで確認) ・オイルタンクのストレーナーに目詰まりはないか ・油圧作動油の交換 ・継手・高圧ホース類にひび・油漏れはないか ・トルクリミッターの移動限での滑り確認 (移動がスムーズで、移動限で滑れば 正常) ・上下スライドパッドの隙間確認 ・ローラー、軸、軸受け、摺動部の清掃、 錆取り、グリス給脂 | ・リフトを上昇させ最上位まで 上がらない場合は、油量が 不足しています。この場合は 補給をする ・清掃 ・作動油は「油圧作動油」 ISO.VG32を使用(下記) ・増締又は交換 ・異常があれば販売会社に連 絡 ・隙間を 1.5 mm以内に調整す る ・異常がある場合は販売 会 社に連絡 |
| 3 年 | ・総合点検 | ・ポストを引き上げて総点検を実施 | ・シリンダーのパッキン、スラ イドパッド等の交換も含めて 販売会社に依頼する |
| 5 年 | ・油圧ホース | ・高圧油圧ホースの交換 | ・販売会社に依頼する |

<有料定期点検のお勧め>

定期点検については専門家による有料点検制度がございます。

是非ご利用下さる様お奨め致します。詳しくは、お買い上げの販売会社へご相談ください。

注: 推奨使用オイル (一般油圧作動油 ISO. VG32)

| | |
|---------|-------------------|
| 出光興産 | ダフニースーパーハイドロ A-32 |
| コスモ石油 | コスモハイドロ AW32 |
| 昭和シェル石油 | シェルテラスオイル S2M |
| ENEOS | スーパーハイランド 32 |

図1 安全爪へのグリスアップ

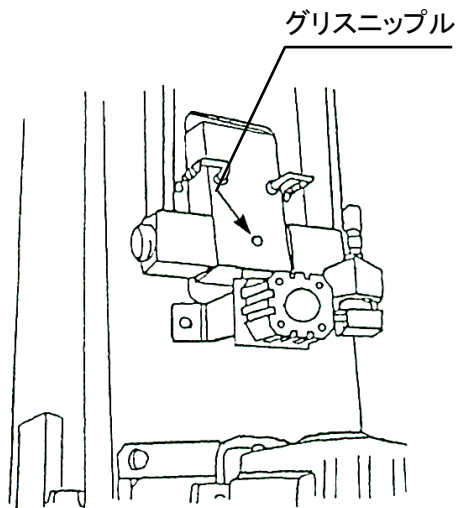


図2 移動チェーンの張り調整

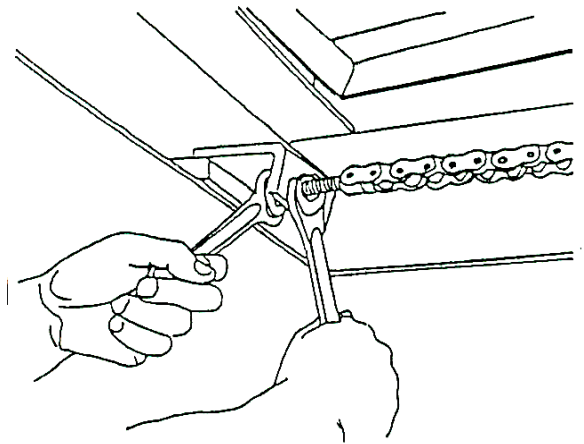


図3 移動チェーンへのグリスアップ

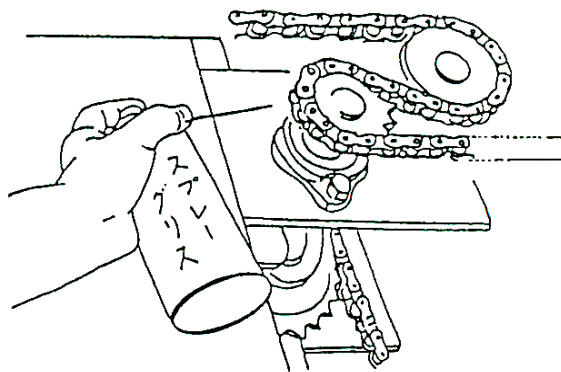


図4 トルクリミッターの調整

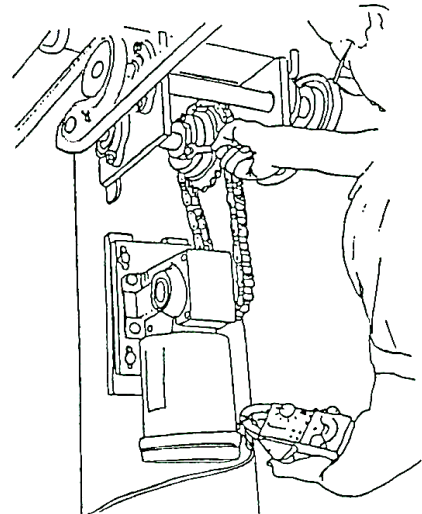


図5 スライドパットの調整

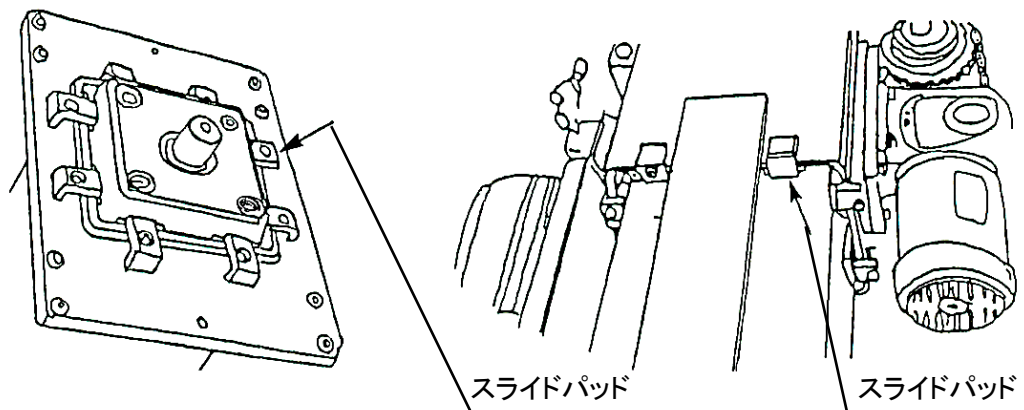
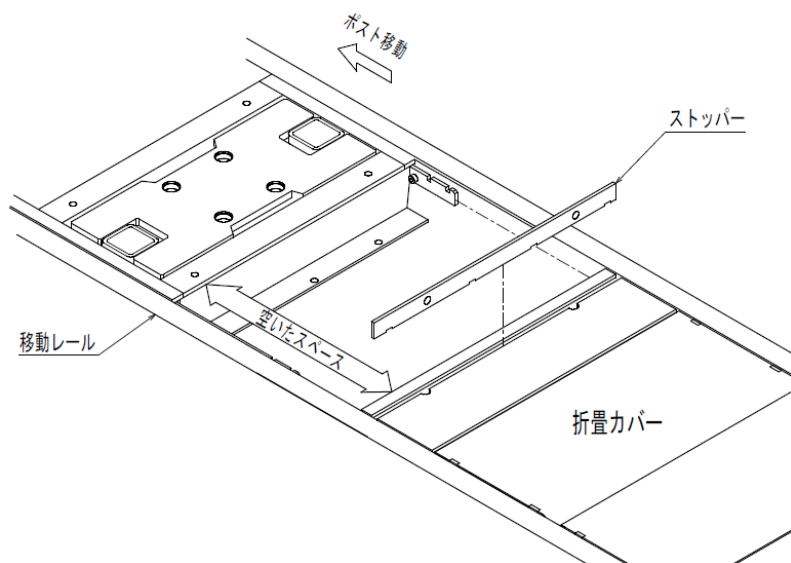


図 6 レールへのグリス塗布

- ・ストッパーを外し、移動ポストを移動してください。



- ・移動ポストと折畳カバーの空いたスペースでレールにグリスを塗布する。(下図参照)

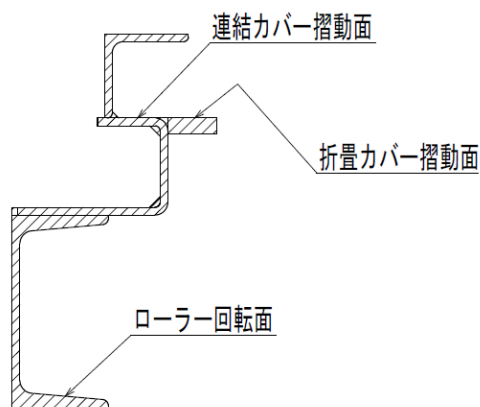
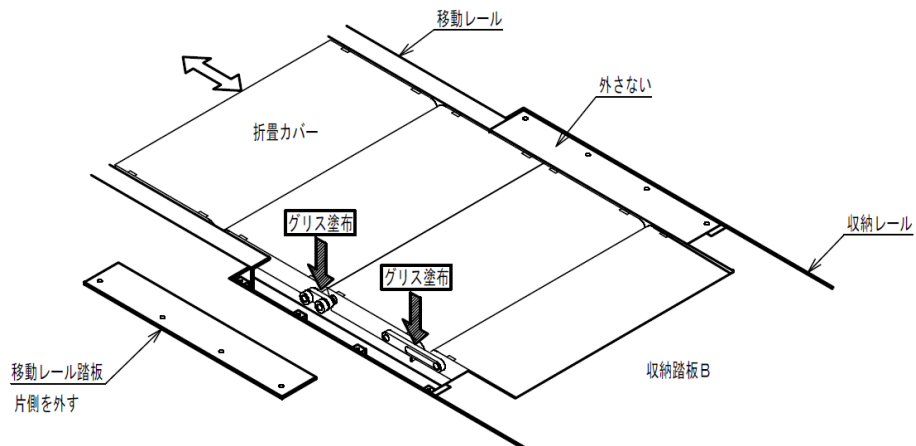


図 7 折畳カバー連結部へのグリス塗布（ローラー、軸、リンク）

- ・移動レール踏板を片側のみ外してください。
- ・移動ポストを移動し、折畳カバー連結部(リンク、軸、ローラー)へ順にグリスを塗布してください。
- ・反対側も同じ手順で行ってください。

※注意：移動レール踏板は、必ず片側のみ外して作業を行ってください。

両側を外してポストを移動した場合、折畳カバーに傷が付いたり、
収納が正常に行われない場合があります。



11. 故障と処置

故障かなと思われる前にもう一度確認を行ってください。

異常が生じた場合は、この取扱説明書をよくお読み頂き、下記の点検を実施してください。

点検・処置を行っても異常が修復されない場合は、お買い上げの販売会社へご相談ください。

専門家による有料定期点検のおすすめ

定期点検については専門家による有料点検制度がありますので、是非ご利用くださるようお奨めします。詳しくは、お買い上げの販売会社へ相談してください。

⚠ 注意

制御盤のマグネットスイッチ、及び本体・中継BOX等の端子台緩み、断線チェック等を行う場合は、必ず一次電源を切り、作業を実施してください。

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---------------------|--|---|
| 上昇しない(モーターが回らない) | ・一次電源が来ていない 又は、電圧が低い | ・一次電源を調べる |
| 一次電源が正常なのにモーターが回らない | ・電源のブレーカーが落ちている ・マグネットスイッチのサーマルリレーが作動(トリップ)している ・マグネットスイッチの接点が焼けている ・操作スイッチの接点不良、又は断線 ・モーターの焼き付き、又は断線 ・安全スイッチが OFF になっている | ・ブレーカーを調べる ・販売会社へ連絡する ・販売会社へ連絡する ・販売会社へ連絡する ・販売会社へ連絡する ・安全スイッチを ON にする |
| 無線リモコンスイッチで操作出来ない | ・無線装置(受信機)の電源が入っていない ・操作スイッチの接点不良、又は送受信機不良 | ・電源を入れる(無線装置下部) ・販売会社へ連絡する |
| 上昇しない(モーターは回る) | ・モーターが逆転している ・単相運転している ・オイルが不足している ・リリーフバルブの不良 ・サクションフィルターの目詰まり ・ギヤポンプの不良 ・チェックバルブの不良 ・電磁チェック弁の不良 ・油圧配管から漏れている ・油圧シリンダーパッキンから漏れている ・重量オーバー | ・販売会社に連絡する ・販売会社に連絡する ・補充する ・販売会社に連絡する ・販売会社に連絡する ・販売会社に連絡する ・販売会社に連絡する ・販売会社に連絡する ・販売会社に連絡する ・販売会社に連絡する ・販売会社に連絡する ・能力以下で使用する(偏荷重がないとき) |

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---|--|---|
| 下降しない | <ul style="list-style-type: none"> ・フィルターレギュレーターにエアがきていない ・エアシリンダーへのエア圧が低い ・エアシリンダーの不良 ・下降バルブのゴミ詰まり不良 ・下降バルブのコイルが作動しない ・リレーが作動しない ・負荷時の下降速度が速すぎてヒューズ弁が作動する ・操作スイッチの接点不良 ・フラットカバーの隙間に異物が挟まっている ・フラットカバーがコジてしまっている | <ul style="list-style-type: none"> ・エア供給する ・フィルターレギュレーターを調整する 0.6±0.02MPa ・販売会社へ連絡する ・販売会社へ連絡する ・販売会社へ連絡する ・販売会社へ連絡する ・販売会社へ連絡する ・販売会社へ連絡する ・異物を取り除く ・販売会社に連絡する |
| 上昇速度が遅い | <ul style="list-style-type: none"> ・オイルタンク内のサクシオンフィルターの目詰まり ・重量オーバー | <ul style="list-style-type: none"> ・オイル交換及びフィルター清掃する ・能力以下で使用する |
| 負荷時下降速度が遅い | <ul style="list-style-type: none"> ・流量調整弁の不良 | <ul style="list-style-type: none"> ・販売会社に連絡する |
| 無負荷下降速度が遅い | <ul style="list-style-type: none"> ・インナーポストとアウターポストの隙間不足 ・インナーポスト部の油切れ | <ul style="list-style-type: none"> ・スライドパッド部のシム調整する ・清掃後にグリスアップする |
| 自然下降する (10分間に1mm以上) (安全爪は掛かっていない) | <ul style="list-style-type: none"> ・下降バルブ、チェックバルブから洩れている ・油圧系統から油が洩れている | <ul style="list-style-type: none"> ・無負荷で上限迄上昇させ「上ボタン」を押し、リリーフ弁を5秒以内で数回作動させても直らない場合は、販売会社へ連絡する ・販売会社へ連絡する |
| 安全爪が戻らない(開いたまま) | <ul style="list-style-type: none"> ・安全爪の軸が固着 ・リターンスプリングの破損 ・エアシリンダーの故障 | <ul style="list-style-type: none"> ・販売会社へ連絡する ・販売会社へ連絡する ・販売会社へ連絡する |
| インナーポストの前後左右のガタが大きい | <ul style="list-style-type: none"> ・スライドパッドの磨耗 | <ul style="list-style-type: none"> ・上、下スライドパッドの隙間をシム調整で少なくする |

※注

※注 :アウターポストの上側、及び下側にはスライドパッドが装着されておりシムにて隙間を 1.0~1.5 mm以内に調整してあります。
長期間使用するとスライドパッドの磨耗により隙間が大きくなります。

| 症状 | 原因 | 処置 |
|----------------|---|--|
| 移動側リフトが移動しない | <ul style="list-style-type: none"> ・リフトへ荷重が掛かっている ・モーターが回っていない ・チェーン切れている ・トルクリミッターが滑っている ・圧カスイッチの不良 ・リフトが 300mm 以上上昇している | <ul style="list-style-type: none"> ・リフトを下降させ、荷重を取り除く ・販売会社へ連絡する ・販売会社へ連絡する ・販売会社へ連絡する ・販売会社へ連絡する ・リフトを 300mm 以下まで下降させる |
| 下降時前後のリフトに差が出る | <ul style="list-style-type: none"> ・流量調整弁の不調 | <ul style="list-style-type: none"> ・販売会社に連絡 |

12. 仕様

1) 32ton有線式

| 項目 | 仕様 |
|-------------|--|
| 商品番号 | LM3132-20CF-F |
| 適用車種 | 下記条件内での中、大型車(バス、トラック) 軸重16ton以下、リフティングポイント 2460~9018mmの中、大型車 |
| 能力 | 16ton+16ton |
| 揚程 | 1500mm |
| ポスト間隔(移動距離) | 2460~9018(mm) 移動距離6558 |
| 油圧ユニット | 各ポストに各一基 |
| 油圧ポンプモーター | 200V、2.2kW 4P...各一基 |
| 上昇時間 | 50Hz 約90秒(使用頻度、気温等により一定にはなりません) 60Hz 約72秒(使用頻度、気温等により一定にはなりません) |
| 下降時間 | 約60秒(Max負荷時)(使用頻度、気温等により一定にはなりません) |
| 移動ポスト移動速度 | 約3.5m/min(50Hz) 約4.0m/min(60Hz) |
| 安全爪解除使用空気圧 | 0.6MPa |
| 移動用モーター | 200V、0.4kW 4P...一基 |
| 制御方式 | シーケンサ制御 |
| 操作方法 | 有線リモコン |
| 作動油 | ISO VG32(油圧作動油) |
| タンク内基準油量 | 40(20+20)リットル |

2) 32ton無線式

| 項目 | 仕様 |
|-------------|--|
| 商品番号 | LM3132-2RCF-F |
| 適用車種 | 下記条件内での中、大型車(バス、トラック) 軸重16ton以下、リフティングポイント 2460~9018mmの中、大型車 |
| 能力 | 16ton+16ton |
| 揚程 | 1500mm |
| ポスト間隔(移動距離) | 2460~9018(mm) 移動距離6558 |
| 油圧ユニット | 各ポストに各一基 |
| 油圧ポンプモーター | 200V、2.2kW 4P...各一基 |
| 上昇時間 | 50Hz 約90秒(使用頻度、気温等により一定にはなりません) 60Hz 約72秒(使用頻度、気温等により一定にはなりません) |
| 下降時間 | 約60秒(Max負荷時)(使用頻度、気温等により一定にはなりません) |
| 移動ポスト移動速度 | 約3.5m/min(50Hz) 約4.0m/min(60Hz) |
| 安全爪解除使用空気圧 | 0.6MPa |
| 移動用モーター | 200V、0.4kW 4P...一基 |
| 制御方式 | シーケンサ制御 |
| 操作方法 | 有線、無線リモコン |
| 作動油 | ISO VG32(油圧作動油) |
| タンク内基準油量 | 40(20+20)リットル |

13. 消耗部品

| 部 品 名 |
|---------------------|
| ・木製受台 ・各種アタッチメント |

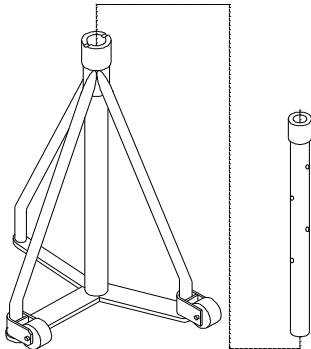
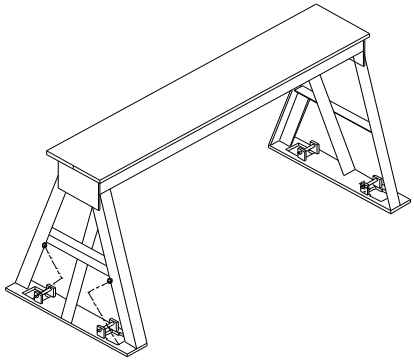
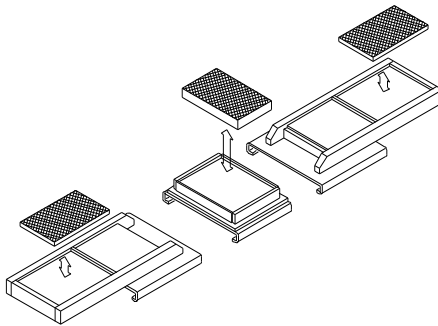
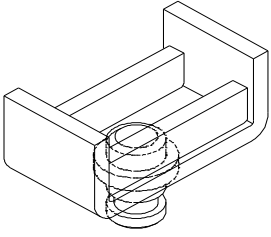
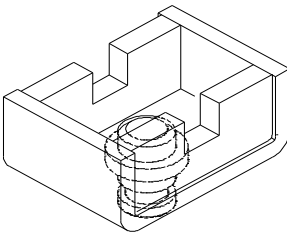
14. 定期交換部品

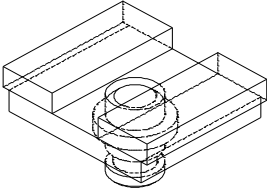
機械の性能の維持、及び故障等を未然に防ぐ目的で下記部品は定期的に交換が必要です。
(5年に1回程度)

| 部 品 名 |
|--|
| ・摺動部のパッキン、スライドリング類(油圧シリンダー、バルブ、油圧ポンプなど) ・スライドパッド ・油圧ホース ・チェーン |

※ 何らかの原因で損傷した場合、上記期間に限らず交換の必要が発生する場合があります。

15. オプション部品

| 名称(商品番号) | 個数 | 形状 |
|--------------------------|-------|---|
| リジットラック (LM4100-6000) | 2 個 |  |
| ラックベース (LM4100-7000) | 1 個 |  |
| フロントエアササアタッチメントセット | 1 セット |  |
| フレームアタッチメントB | 2 個 |  |
| フレームアタッチメントC | 2 個 |  |

| 名称(商品番号) | 個数 | 形状 |
|--------------|----|---|
| フレームアタッチメントD | 2個 |  |

16. 製品保証規定

16-1. 保証規定

取扱説明書、警告ラベル等の記載内容に従った正常な使用状態で保証期間内(納入後1年以内)に故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて欠陥部品の手直し、修理、取り替え、交換部品の送付をさせていただきます。

但し、二次的に発生する損失の補償、及び次の場合に該当する故障は、保証の対象外とさせていただきます。

- 1) 使用上の誤り、保守点検、保管等の義務をお客様が怠った為に発生した故障、及び損傷。
- 2) 製品の作動、及び機構に悪影響を与える変更(改造)をお客様が行い、それが原因で発生した故障及び損傷。
- 3) ゴム部品等の消耗部品の損傷。
- 4) 火災、地震、風水害、及びその他の天災地変等の不可効力に起因する故障、及び損傷。
- 5) 指定された純正部品をご使用されなかった事に起因する故障、及び損傷。
- 6) 日本国以外でご使用される場合。
- 7) 保証請求手続きが不備な場合。(例:欠陥部品の返却がない場合)
- 8) 弊社、及び弊社指定サービス工場以外にて修理、改造、及び設置工事を行った事に起因する故障、及び損傷。

16-2. 保証請求方法

上記規定に基づいて本製品の保証請求を行う場合は、お買い上げの販売会社までご連絡ください。必要な手続きは販売会社が実施致します。

尚、保証の要否については、大変勝手ながら弊社にて判断させていただきますのでご了承ください。

17. アフターサービスについて

- ・調子が悪いときは
もう一度この取扱説明書をご覧になりお調べください。
特に、“6 故障と処置”を参照ください。
- ・直らない場合は、お買い上げ販売会社に修理等を依頼してください。
- ・保証期間中の修理等
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理致します。
詳しくは商品保証規定をご覧ください。
- ・保証期間後の修理
お買い上げの販売会社にご相談ください。修理により機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
- ・その他
アフターサービスについての詳細、その他の具不明な点は、お買い上げ販売会社までお問い合わせください。
ご相談の際は、“MODEL”、“No.”、“DATE”、購入年月日、及び故障状況(出来るだけ詳しくお願いします)をお知らせください。

下記事項を記録して頂くと、お問い合わせの時に便利です。

| | |
|---------------|----------|
| MODEL | LM |
| No. | |
| DATE | |
| 購入年月日 | 年 月 日 |
| 購入店名 | 社名: 担当者: |
| | 住所: 電話: |
| 故障発生日 及び状況 | 年 月 日 |
| | 年 月 日 |
| | |

取扱説明書

| | |
|--------|--------------------------------|
| 品名 | 32tツインフルフラット式横キャタピラ |
| 型式 | LM3132-20CF-F LM3132-2RCF-F |
| 初版発行月日 | 2017年 2月 1日 |
| 改訂発行月日 | 2022年 12月 1日 |
| 改訂発行月日 | 2023年 10月 1日 |
| 改訂発行月日 | 2024年 4月 1日 |
| 編集・発行者 | 設計開発部 |
| 発行 | 株式会社 アルティア |

無断複写・掲載を禁ず



株 式 会 社 ア ル テ ィ ア

| | | | |
|--------|-----------|--|-----------------|
| 札幌支店 | 〒007-0803 | 札幌市東区東苗穂三条3-1-81 | TEL011-786-2010 |
| 仙台支店 | 〒983-0034 | 仙台市宮城野区扇町3-2-15 | TEL022-783-3810 |
| 首都圏支店 | 〒104-6206 | 中央区晴海1-8-12 | TEL03-6777-0331 |
| 関東信越支店 | | 晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーZ棟6階 | TEL03-6777-0334 |
| 名古屋支店 | 〒465-0035 | 名古屋市名東区豊が丘26番地 | TEL052-775-4010 |
| 大阪支店 | 〒556-0021 | 大阪市浪速区幸町3丁目7-11 | TEL06-7708-8820 |
| 広島支店 | 〒733-0842 | 広島市西区井口5丁目25-21 | TEL082-277-2340 |
| 福岡支店 | 〒812-0007 | 福岡市博多区東比恵3-6-1 | TEL092-411-5351 |
| 機工営業部 | 〒104-6206 | 中央区晴海1-8-12 晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーZ棟6階 | TEL03-6777-0038 |

『販売会社又は施工業者の方へのお願い』
この取扱説明書は、お客様に必ず渡して下さい

製造・販売元
株式会社 アルティア